

平成30年度診療報酬・介護報酬改定の概要に関する説明

- (1) 診療報酬改定について
- (2) 介護報酬改定について

〈保健師職能委員長会〉 13：20～16：00

議 題

- (1) 平成29年度保健師職能委員会活動報告
- (2) 平成29年度事業報告および平成30年度重点政策・重点事業について（保健師関連）
- (3) 事例発表・グループディスカッション
「保健師活動のバトンをつなぐ～新任保健師（A-1、A-2）の育ちを支える～」
 - ①趣旨説明
 - ②事例発表 滋賀県看護協会 保健師職能委員長
 - ③グループディスカッション・発表
 - ④まとめ

〈助産師職能委員長会〉 13：20～16：00

議 題

- (1) 平成29年度助産師関連事業報告と平成30年度重点事業・重点政策（助産師関連）について
- (2) 平成29年度助産師職能委員会活動報告と平成30年度助産師職能委員会活動方針について
- (3) CLoCMiPRレベルⅢ認証申請関連について
- (4) 「妊娠期から育児期における切れ目のない支援について～院内助産・助産師外来の推進とアドバンス助産師の役割～」
 - ①日本産婦人科医会における周産期メンタルヘルスプロジェクトの概要と取り組みについて
 - ②助産師が活用する3つの質問票と地域連携について
 - ③グループ討議

〈看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉 13：20～16：00

議 題

- (1) 平成29年度看護師職能委員会Ⅰ病院領域 活動報告
平成30年度看護師職能委員会Ⅰ病院領域の活動方針について

- (2) 関連事業報告「看護師の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン(改訂)」について
- (3) 情報提供「看護師長が役割を發揮するために必要な支援や教育について」
- (4) 地区別グループ討議

「多職種連携において病棟看護師が担う役割の実態と、担う役割について」

- ①趣旨説明
- ②グループ討議・発表

〈看護師職能委員長会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域〉 13：20～16：00

議 題

- (1) 平成29年度看護師職能委員会Ⅱ活動報告
- (2) 平成29年度重点事業報告
- (3) 平成30年度重点政策・重点事業（在宅看護関連）
- (4) 平成30年度看護師職能委員会Ⅱ活動方針
- (5) 講演 「平成30年度 診療報酬・介護報酬改定の概要について」
- (6) 特別委員会報告「訪問看護管理者／介護施設の看護管理者の系統的な研修内容及び支援体制のあり方検討委員会
- (7) 地区別グループ討議
テーマ「看護師職能委員会Ⅱ及び都道府県看護協会職能委員会Ⅱにおける組織力強化のための具体策」について
- (8) 発表・まとめ

II 地区別職能委員長会（関東甲信越地区）

日 時 平成29年10月24日（火） 9：00～15：00
場 所 アルカディア市ヶ谷

（保健師職能委員長会）

- (1) 保健師職能委員会報告
- (2) 保健師関連事業報告（重点政策・重点事業、他）
 - ①包括的母子保健推進における看護機能の強化
・子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化
 - ②健康寿命の延伸に向けた地域連携推進
・重症化予防等における看護提供体制と看護職間連携のあり方の検討と提言
・「ポピュレーションアプローチにおけるプロセスとアセスメント」の実際
・健康寿命の延伸や健康格差の縮小のための保健活動に関するテキストの作成
 - ③地域包括ケアシステム構築に対応する保健師のキャリアラダー策定・活用の支援
・自治体保健師のキャリア形成支援事業、他
- (3) 意見交換・情報交換（活動状況などについて）
 - ①平成29年度保健師職能委員会の活動計画について
 - ②地域包括ケアシステムの構築・推進について
 - ③保健師のキャリア形成の推進について
 - ④健康寿命の延伸に向けた地域連携推進について
 - ⑤産業保健活動について（現状把握と情報共有）
 - ⑥保健師のネットワーク強化及び組織強化に関する取り組みについて
 - ⑦その他

（助産師職能委員長会）

報告事項

- (1) 助産師職能関連について
 - ①平成29年度助産師職能委員会の在り方と地区内連携について
 - ②平成29年度重点政策・重点事業（助産師関連事業）4月～8月の進捗報告
 - ③平成29年度第1回全国助産師職能委員長会報告

(2) 助産関連事業について

- ①都道府県周産期医療協議会の開催状況等に関するアンケート結果
 - ②平成29年度「看護職の小児在宅移行支援能力強化のための指導者研修～前半～」実施報告
 - ③平成29年度助産師出向事業推進会議 実施報告
 - ④「2017年国際助産師連盟（ICM）国際評議会および第31回3年毎大会」参加報告
- (3) CLoCMiPRレベルⅢ認証について
 - ①新規申請について
 - ②更新要件と研修について
 - (4) 平成29年度都道府県看護協会助産師職能委員会の活動に関する情報収集結果（速報）について
 - (5) グループ討議
「院内助産・助産外来を活用した妊娠期から育児期における切れ目のない支援に向けたアドバンス助産師の役割について」
 - ①子どもへの虐待予防
 - ②周産期のメンタルヘルスケア
 - ③産後ケア

(看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域)

報告事項

- (1) 職能委員会報告
- (2) その他

協議事項

- (1) 看護師長への支援・教育に関する取り組みの広がりに向けた課題について
- (2) 病院における看護職と他職種との連携や協働、役割分担に関する県内の現状および課題について

その他

- (1) 都道府県看護協会看護師職能委員会Ⅰ
病院領域の活動について

(看護師職能委員長会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域)

報告事項

- (1) 看護師職能委員会Ⅱ報告(4～8月活動報告)

情報提供

- (1) 情報通信機器(ITC)を利用した死亡診断のガイドラインについて
- (2) 介護給付費分科会の進捗について
日本看護協会常任理事 荒木暁子

グループ討議

- (1) 平成29年度都道府県看護協会 看護師職能委員会Ⅱ委員会活動に関する情報交換と課題整理
- (2) 施設等での医療のあり方(特定行為研修・看取り期の救急搬送等)
- (3) 死亡診断書の取り扱いに関するガイドラインの普及

看護師職能Ⅱ領域における活動の広報と組織力強化に向けた具体策について

常任委員会及び推薦委員会報告

教 育 委 員 会

委員長 増 渕 美恵子

I 活動のまとめ

所掌事務	看護職の資質の向上に関すること
諮問事項	<p>少子超高齢社会を見据えた生涯教育の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い看護を提供するための人材育成 ・会員にとって魅力ある研修の検討 ・千葉県看護研究学会について
現状と課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年6月頃に日本看護協会より看護師のクリニカルリーダー(日本看護協会版)看護の核となる実践能力 (以下、「クリニカルリーダー」という)及び活用のための手引しが提示された。現在、千葉県看護協会の「生涯教育研修計画」には反映されていないため、受講対象者が絞られておらず、研修評価が難しくなっている。クリニカルリーダーの内容に基づき、研修プログラムを5段階に区分して提示する必要がある。 2. 現在実施している研修会の評価方法について教育部から意見を求められている。 3. 千葉県看護協会研究学会は、教育委員会の下部組織として位置づけられている。そのため、教育委員会の委員長は研究学会の委員も兼務しなければならない、過重な業務負担がある。この点を改善するためにも、両組織の位置づけを明確にする必要がある。 4. 特定行為研修修了看護師の人数は、全国的に約500名で、ほとんどが病院施設に所属している。本来の趣旨は、2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくための目的の制度であるが、現状はなかなか導入が進んでいない。本件は、制度に関わる内容であり、教育委員会は教育の内容を検討する委員会であることから、直接的な関与は難しい状況ではあるが、今後の医療提供体制の推移と併せ千葉県の実態を把握しておくことは重要である。
検討内容	<p>〔検討内容・過程〕 〔委員会開催状況：6回開催（別紙に詳細を記載）〕</p>
検討結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度の研修プログラムを5段階に区分して整理した。その後、日本看護協会よりクリニカルリーダー4つの力と学習項目が提示され、それに基づき研修プログラムを見直す必要性が示唆された。ナースシップ・キャリアナースの関係で、各都道府県の研修プログラムが全国共有化することになり、次年度は日本看護協会のHPにアップされることになった。その記載様式には学習段階の表記がされないため、次年度の計画にも表記しないこととなった。 2. 教育部が現在実施している評価方法は、受講者のアンケートと研修の担当による研修実施報告を基に研修評価一覧を作成し、4段階評価で評価を行っている。アンケートのを充実させていく予定である。 3. 第36回千葉県看護研究学会は、平成30年2月16日アパホテルにて「ふれる看護！かंगाえる看護！つなぐ看護！～実践と研究の連鎖～」のテーマで開催され、417名の参加があった。特別講演には淑徳大学看護栄養学部看護学科教授 茂野香おる先生をお招きして、講演を行った。 4[K4]. 「看護師の特定行為研修の修了者の活動状況に関する研究」(厚生科研2017/3)の内容を確認し、現状の理解に努めた。訪問領域では、患者の担当医と電話で連絡を取り合い、通常の業務でろう孔管理等は行っているため、研修終了後とどのように異なるかわかりづらい。また施設領域では、自施設での指導が受けられないと、他施設[K5]での演習を受けにくい環境にあるため、受講継続が難しい現状であった。これらの現状を踏まえ、研修する本人はもとより、看護管理者が研修に出すメリットを理解できなければ、普及は難しいのではないかと考え、看護管理者への研修等の働きかけが重要である。
今後の課題	<p>2年間の諮問事項に対する検討は終了した。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)質の高い看護を提供するための人材育成：JNAリーダーを通して解決を図る方向で、千葉県看護協会もその方策を取る方向で進むこととなった。 (2)会員にとって魅力ある研修の検討：平成30年度研修計画には学習段階を表記しないことに決定した。内容については平成30年度生涯研修計画(別紙)参照。研修評価方法に関しては、現在の方法で継続してもらい、次年度以降委員会にて、経過を追っていただく。 (3)千葉県看護研究学会：看護研究学会実行委員会は教育委員会の下部組織であったが、次年度から新たに研究学会に関する委員会として運営されることになり、教育委員会とは切り離されることとなった。

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 7月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度教育委員会諮問事項について 2. 現状と課題 3. 年間事業計画について 4. 第36回千葉県看護研究学会の進捗報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 諮問事項を3点提示され、確認された。 2. ・今年度見送られた学習段階を含めた計画が次年度以降の生涯研修計画に反映されているか、確認が必要である。 ・特定行為研修修了看護師の人数は、全国的に約500名で、ほとんどが病院施設に所属している。本来は、2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくための制度である。本件は、制度に関わる内容であり、教育委員会は教育の内容を検討する委員会であることから、直接的な関与は難しい状況ではあるが、千葉県の実態を把握しておくことは重要である。 3. 訪問看護において特定行為研修のニーズを把握するために、病院管理者向けの研修会が開催される予定であることから、その機会を使ってアンケートを行う予定として、別紙の通り計画する。 4. メンバーが選出され、検討を開始している。 (教育委員会からは、増淵が参加)
第2回	9月14日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間事業計画再検討 2. 研修プログラムと学習段階の確認 3. 第36回千葉県看護研究学会の進捗報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1～2. 前回アンケートの計画を立案したが研修会の対象が異なることがわかり、計画を変更した。学習段階を次年度以降の生涯研修計画に反映させるために、2018年度生涯研修計画について確認することになった。(どの領域に該当するのか、該当するとしたら、どのレベルか、該当しないものは該当無しとして区分する) 3. 今回のテーマは、「ふれる看護！かंगाえる看護！つなぐ看護！」となった。現在演題数は、44件応募されている。特別講演は、茂野香おる教授（淑徳大学看護栄養学部）に決定した。
第3回	10月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修プログラムと学習段階の確認 2. 研修会評価項目の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県看護協会の生涯教育研修計画プログラムにはキャリアの面も含まれており、このような研修は、区分しなかった。また、次の段階のラダーレベルに到達するために受講する研修であることを想定して受講対象者のラダーレベルを設定した。 2. 教育部より現在実施している評価方法は、受講者のアンケートと研修の担当による研修実施報告を基に研修評価一覧を作成し、評価を行っている報告がなされた。学習段階が導入されると受講対象者に適正なレベルの学習内容や難易度を絞りやすくなるため、さらに評価しやすくなると思われる。

回数	開催月日	議 題	内 容
第4回	12月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度教育プログラムの確認① 2. 学習段階表記の周知方法の確認 3. 第36回千葉県看護研究学会の進捗報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成30年度生涯教育研修計画（案）」は、(1) 看護職の資質の向上を目指し、(2) 5年以上継続して開催している研修の見直しを行い、(3) 年度内に研修計画を1月中に会員に届けることを留意し、立案された。全62コースを予定している。次年度より、日本看護協会に県の研修計画を報告し、全国の都道府県で実施されている研修に県を越えて参加できるような仕組みとするため、日本看護協会が規定した様式に従って研修予定を提出することとなった。提出様式に学習段階の表記欄はないため、次年度の計画にも表記しないとの報告があった。 2. 前項目に準じ、周知に関しては討議されていない。 3. 演題数は40演題程となる予定である。評価者には、師長、副師長またはスペシャリストが選ばれている。また、研修支援として学会内でコーナーがあり、盛況であることから2ブースから3ブースに増して行う。 中小規模施設における倫理委員会等の検討課題が残っており、次年度は看護研究学会に関する常任委員会を設置することになった。
第5回	平成30年1月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度教育プログラムについて 2. 研修会評価の確認 3. 特定行為研修に関する情報交換 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会で報告された最終プログラムの報告がなされた。4月下旬には日本看護協会のHPにアップされる予定である。 2. 4段階評価で実施中。3月には本年1年間実施した評価内容の評価を行う。提案された評価について、全ては取り入れられないが、アンケートの表現を充実させていく予定である。 3. 調査資料「看護師の特定行為研修の修了者の活動状況に関する研究」（厚生科研2017/3）の内容を確認し、現状の理解に務めた。訪問領域では、患者の担当医と電話で連絡を取り合い、通常の業務でろう孔管理等は行っているため、研修終了後に何ができるようになるかわかりづらい。また施設では、自病院での指導が受けられないと、他院での演習をう受けにくい環境があるため、受講継続が難しいとの意見がでた。研修する本人はもとより、看護管理者が研修に出すメリットを理解できなければ、普及は難しいのではないかと思われる。

回数	開催月日	議 題	内 容
第6回	3月8日	1. 第36回千葉県看護研究学会の報告 2. 平成29年度諮問事項へのまとめ	1. 2018年2月16日(金)アパホテル&リゾートで開催され、417名の参加があった。看護学生の国家試験と日程が近く、学生の参加ほとんどなかった。参加者総数が前回より減少したため、次年度開催日程の調整が必要と思われる。茂野先生の特別講演は参加者多数であった。 2. (1)質の高い看護を提供するための人材育成：JNAラダーを通して解決を図る方向で、千葉県看護協会もその方策を取る方向で進むこととなった。(2)会員にとって魅力ある研修の検討：平成30年度研修計画には学習段階を表記しないことに決定した。内容については平成30年度生涯研修計画(別紙)参照。研修評価方法に関しては、現在の方法で継続してもらい、次年度以降委員会にて、経過を追っていただく。(3)千葉県看護研究学会について：看護研究学会実行委員会は教育委員会の下部組織であったが、次年度から新たに研究学会の委員会として運営されるため、教育委員会とは切り離されることとなった。

労働環境改善委員会

委員長 伊藤 恵美

I 活動のまとめ

所掌事務	働き続けられる職場環境づくりの推進に関すること
諮問事項	働き続けられる職場環境づくりを推進するための戦略 ・潜在看護職等の再就業支援 ・ワークライフバランスの推進
現状と課題	潜在看護師の再就業支援については、ナースセンターによる、合同就職説明会や看護基礎技術講習会、ハローワークでの再就業支援等が推進されていることから、平成29年度の委員会の取組は、ワークライフバランスの推進に焦点を当てることとした。 「せっかく入職しても受け入れ施設の体制が整備されていないため離職に繋がることが考えられる」との意見が出され、働きやすい職場環境を作るために看護管理者が知っておきたい内容(時間管理や有給休暇、ハラスメント、メンタルヘルスマネジメント等)について検討した。 課題:「働きやすい職場環境づくり」のための情報を看護管理者に周知する。
検討内容	今年度、諮問事項である「働き続けられる職場環境づくりを推進する」の答申に当たり、委員会ではワークライフバランスの推進に焦点を当て、特に看護管理者が知っておきたい時間管理や有給休暇等について検討を重ねた。 第1回(7/13)年間計画立案 第2回(9/28)時間管理 県の助成金・補助金 第3回(10/26)休み方改革 第4回(11/16)多様な勤務形態について 私たちの思いを検討 第5回(12/13)ハラスメント・メンタルヘルス・題名の検討 第6回(1/18)完成原稿の見直し、題名と表紙の決定 第7回(4/24)資料の配布方法の決定
検討結果	原稿内容の決定(B5サイズ) 題名:「働きやすい職場づくりの労務管理サポートブック」 構成:表紙、はじめに、目次 ①労働時間管理に目覚めよう ②サービス残業をなくせば職場は変わる ③タイムカードの「打刻ルール」を徹底しよう ④「残業は業務命令で行うもの」を意識しよう ⑤「前残業」はこうして解消しよう! ⑥休憩がとれなかったら処理するべきか ⑦記録で残業をしないためにやるべきこと ⑧プリセプターを離職理由にしないために ⑨研修や勉強会はグレーゾーンではない ⑩「夜勤ができる看護師」を広げる職場づくり ⑪「夜勤ができない看護師」を許容する職場づくり ⑫「代休」が必ず取れるようにルール化しよう ⑬「有給休暇」は職員満足感のパロメーター ⑭有給休暇の買い取りは限定的に認められる ⑮「辞める時の全部消化」にどう対処すべきか ⑯「シフトに勝手に年休を入れられた」の解決策 ⑰時間単位年休は「自分で管理」目指そう ⑱ハラスメントのない職場づくりのために ⑲「職員の声」を吸い上げて早期発見・解決に ⑳看護部でできること職員のメンタルヘルスマネジメント 【コラム】産休・育休の早見表、卒後1年目の新人看護師が困っていること、千葉県インフォメーション 【私たちの思い】「働きやすい職場環境づくり」を推進するために看護管理者が判断に困った時に活用できる情報をQ&Aでまとめることができた。
今後の課題	今後、委員会で検討した情報を、施設等会員代表者会等を通じ看護管理者に提供し、働き続けられる職場環境づくり推進の参考としていただく。

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 7月13日	1. 平成29年度活動計画の立案 2. 冊子の内容検討	1. 年間スケジュール6回目時決定 2. 内容の検討 ①時間管理②休み方改革③多様な④勤務形態 について⑤ラスメント・新人コラム ページ数48ページで検討
第2回	9月28日	1. 時間管理冊子の見直し	1. 時間管理の冊子についての原稿の内容検討 新人コラムについて2P決定 助成金・補助金2P決定 協会インフォメーション2P決定
第3回	10月26日	1. 原稿内容の整理・検討 2. 原稿内容の決定	1. 原稿案と図版案に沿って内容を検討 2. 必要な内容と省く内容を決定 3. 時間管理と休み方改革について検討
第4回	11月15日	1. 原稿内容の整理・検討 2. 原稿内容の決定 3. 印刷フォーマット決定	1. 原稿フォーマットの検討 題名案の決定 冊子の「私たちの思い」の原稿決定 2. 原稿内容の決定 3. 千葉県の事例を載せていく
第5回	12月13日	1. 原稿内容の整理・検討 2. 原稿内容の決定 3. 印刷フォーマット決定	1. 出版について理事より助言 印刷業者に依頼について メンバー表示について 表紙の検討 題名案3つ立案 2. 原稿内容の検討
第6回	平成30年 1月18日	1. 題名・冊子の決定	1. 冊子のサイズの決定 表紙イラスト決定 題名決定 ページ厚生の決定
第7回	4月24日	1. 資料の配布方法の決定	1. 配布方法の決定 施設代表者会で委員会報告として講演

医療安全委員会

委員長 小賀坂 好子

I 活動のまとめ

所掌事務	安全で安心な職場環境づくりの推進に関すること
諮問事項	安全な看護を提供するための組織的な推進戦略 ・組織で取り組む安全文化の醸成 ・チーム医療推進のための行政、関係機関・関係職種との連携
現状と課題	現状 医療安全推進の組織的な取組みを推進するため検討課題 1. チーム医療を推進するための多職種連携の推進 2. 組織で取り組む安全文化の醸成 3. 医療安全を推進するための行政及び関係機関等の連携
検討内容	〔検討内容・過程〕 〔委員会開催状況：6回開催（別紙に詳細を記載）〕 今年度、諮問事項である「安全な看護を提供するための組織的な推進戦略」の答申にあたり課題について委員間で検討を重ねた。千葉県看護協会事業である医療安全大会や医療安全担当者交流会等の実施状況から、多職種が協働し医療安全推進に向け高まりがあると実感する一方、県内の医療安全推進の実態（平成24年度本委員会での調査以降の動向を含む）が明らかでないことが課題となった。この課題について探るべく「医療安全管理に関するアンケート」の再調査を実施することが最優先であるとの意思統一から、調査・再考察を実施した。 再考察を進める中で特に委員会として重要と考えた点は、 1. 医療安全体制の整備状況 2. 医療安全担当者の連携・交流のニーズ これら2点に注目しながら、平成29年度に至る5年間の軌跡や新たな課題等について検証することができるアンケート内容が審議され、実施するに至った。 アンケート調査後は、委員間で厳正に意見交換を実施した。
検討結果	県内病院の医療安全管理の現状を把握するために実施したアンケート調査の結果は、平成24年度調査より回収率が低く、特に大規模病院からの回答が得られなかった。しかし、医療安全体制の推進はみられ、多職種で取り組まれてきていることが伺えた。また、活動状況を確認すると、研修等の教育は整ってきているが、マニュアル整備は進んでいない等、現状を相対的に把握の上で、課題の抽出を行い諮問事項の答申をまとめた。
今後の課題	医療安全管理体制は、5年の経過の中で多職種により構築され、職種や役割を超えた体制が確認できた。これは医療安全体制を構築するには、多職種連携が要であるという考えが啓発された結果と考える。しかし、施設内のインシデントレポートの提出数には大きな開きはなく、今後も施設内での働きかけが必要と考えられる。また、施設内の医療安全対策に前進がみられる一方で、医療安全管理上の課題については、情報の取り扱いの難しさもあり、課題解決に困難が生じている様子が伺えた。その内容に至っては、医療安全担当者自らが質の向上を目指す中で、地域・他病院との連携・情報交換を望んでいるが、施設の枠を超えた連携が進まないことが課題として取り上げられた。従って、当委員会としては、現在実施の「医療安全担当者交流会」において、地区単位としたチームの連携強化の推進と、施設のニーズを考慮し、自主的にかつ身近な連携・交流が取れる働きかけの推進を答申として報告する。

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議題	内容
第1回	平成29年 4月25日	1. 平成29年度医療安全委員会年間事業計画についての検討 2. その他 ①医療事故調査制度について ②医療安全対策事業について	1. 新役員を含むメンバー7名による自己紹介後、事務局新体制の紹介が行われた。 2. 千葉県看護協会医療安全委員会諮問事項の確認及び答申するための意見交換を行い、平成29年度年間事業計画案を策定した。県内施設での医療安全推進状況の把握に努めた活動について意見交換を行った。

回数	開催月日	議 題	内 容
第2回	6月13日	1. 諮問事項について検討 2. 平成29年度医療安全委員会年間事業計画についての再検討 3. その他 ①医療事故調査制度について ②医療安全対策事業について	1. 諮問事項の答申をするための事業計画について再度検討を実施した。 医療安全推進の組織的な取組みを推進するためには県内医療施設の実態を明らかにすることとなり医療安全管理に関するアンケート調査の実施を決定した。 2. 平成28年度から協会事業として開催されている「医療安全担当者地区交流会」へ本委員会として参加する意見がまとまり、課題に挙げた「チーム医療を推進するための多職種連携の推進」に意見交換を行った。
第3回	9月26日	1. 諮問事項について検討 2. 医療安全管理に関するアンケート調査項目検討 3. その他 ①医療事故調査制度について ②医療安全対策事業について	1. 医療安全管理に関するアンケート調査の目的・調査方法・調査項目・調査期間等を検討した。委員会の意向として、平成24年度に実施した「医療安全管理に関する調査」結果と対比（経年的な状況の把握）できる内容とした。また、平成24年度「医療安全管理に関するアンケート」結果で医療安全に関する連携・情報共有を地区内で実現したいとの意向を踏まえた内容とした。更に全国的に重点課題とされているカリウム製剤投与についての質問を加えた。 2. 医療安全対策事業の確認
	10～11月	1. 医療安全管理に関するアンケート調査の実施	1. 千葉県看護協会事務局の協力でアンケートの郵送・回収を実施した。
第4回	12月12日	1. 諮問事項について検討 2. 医療安全管理に関するアンケート調査集計確認 3. 平成29年度委員会事業実績中間報告について 4. その他 ①医療事故調査制度について ②医療安全対策事業について	1. 医療安全管理に関するアンケート調査結果報告を確認した。また分析や解釈を行い効果的な表記について意見交換を実施した。結果、集計表の削除・追加・修正などを審議しながら自由記載についてはカテゴリー化を実施することとなった。 2. 平成29年度委員会中間事業実績では、今回実施したアンケート調査の内容の分析を吟味し答申する事を話し合った。
第5回	平成30年 1月9日	1. 諮問事項について検討 2. 医療安全管理に関するアンケート調査結果分析 3. その他 ①医療事故調査制度について ②医療安全対策事業について	1. 医療安全に関するアンケート調査結果について追加・修正箇所を確認しながら①結果の提示手段②アンケート回答のネットワークのニーズ③平成24年と相対的に見て変化している専従配置の職種④医療安全管理体制の制度の要望等様々な観点から分析を行った。また、考察しきれなかった事項については、改めて意見をまとめることとなった。 2. アンケート結果をもとに意見交換を行った。内容を含め提言すべき事項等を勘案し整理を進めた。
第6回	2月13日	1. 諮問事項について検討とまとめ 2. 医療安全管理に関するアンケート調査結果より提言まとめ 3. 平成29年度委員会事業実績まとめ報告について 4. その他 ①医療事故調査制度について	1. 医療安全に関するアンケート調査結果についてまとめ(案)をもとに各委員の積極的意見のもと討議を展開した。討議内容として①表記方法（割合や数値等）②考察の再検討等③調査目的として掲げた「平成24年度「医療安全に関するアンケート」結果との相対的内容④アンケート結果の総括を実施した。 2. 医療安全に関するアンケート調査結果を吟味し、委員会として諮問事項の答申をまとめた。

広 報 委 員 会

委員長 伊藤 淳子

I 活動のまとめ

所 掌 事 務	協会及び看護の広報に関すること
諮 問 事 項	協会の広報戦略 ・会員、非会員に対する広報 ・県民に対する広報
現 状 と 課 題	1. 県民が協会事業に興味を持てる広報について 2. 会員・非会員に向けての広報活動について
検 討 内 容	〔検討内容・過程〕 1. 「看護ちば」の内容・適切な部数の検討について 2. 「看護ちば」企画・編集会議の参加について 3. 県民向けの広報活動について 4. 県民向けのホームページを充実させる内容について 5. 各都道府県看護協会ホームページ調べ 6. 「看護ちば」内容検討 7. 「看護ちば」表紙案について 〔委員会開催状況：6回開催（別紙に詳細を記載）〕
検 討 結 果	1. 「看護ちば」新春特別号の内容検討 ・特定行為研修了者数の拡大と修了者の活用 ・新人看護職員教育体制等の紹介（シリーズ） ・専門・認定看護師活動紹介・ワンポイントレクチャー ・退職後の看護職員のセカンドキャリア紹介 2. 「看護ちば」内容検討・過去に看護サウルス賞を受賞した施設のその後の状況を掲載する ・特定・専門・認定看護師の活躍 ・セカンドキャリアで輝くプラチナナース 3. 「看護ちば」内容提案を行い、「認定看護師による訪問看護活動」について次号以降の特集を組むこととなった
今 後 の 課 題	・予算等を踏まえて委員会での提案内容を模索する ・現場の声を聞き、記事を補完する役割 ・一定予算枠の提示を受け、その範囲内の一任された企画等を実施する（作業部会のような要素を含む） ・協会ホームページ改修（継続）・「看護ちば」の内容は、研修や委員会活動に特化したものとし、看護協会の事業により興味をもてるような冊子にする

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 7月10日	1. 年間事業計画作成 2. 「看護ちば」の活用方法	1. 適切な部数の検討について 2. 「看護ちば」企画・編集会議の参加について 3. 「看護ちば」内容について 4. 県民向けの広報活動について
第2回	9月8日	1. 千葉県看護協会が考える県民に対する広報内容を受け、県民広報の検討	1. 「看護ちば」企画・編集会議の参加について 2. 県民向けの広報活動について 3. 県民向けのホームページを充実させる内容について
第3回	10月13日	1. 県民向け広報について ホームページ内容検討 2. 看護ちば124号 新春企画案	1. 各都道府県看護協会ホームページ調べ 2. 「看護ちば」新春特別号の内容検討
第4回	11月10日	1. 平成29年度実績(中間)まとめ	1. 県民向けの広報について 2. 電子媒体の活用 3. 委員会活動提案
第5回	平成30年 1月12日	1. 「看護ちば」編集意見 2. 「看護ちば」企画案	1. 「看護ちば」内容検討 2. 「看護ちば」125号の提案企画検討
第6回	2月9日	1. 「看護ちば」表紙の提案 2. 事務局から報告 3. 都道府県看護協会広報担当役員会議出席報告 4. 平成29年度実績まとめ 5. 平成29年度次年度課題	1. 事務局からの報告 ・「看護ちば」企画案について ・ホームページ改修について

会員増促進委員会

委員長 石井 久美子

I 活動のまとめ

所掌事務	会員増の促進に関すること
諮問事項	会員を増やすための戦略 ・会員増の具体的方策 ・会員増を考慮した協会事業の進め方
現状と課題	1. 非会員へのアプローチ ・看護学生 ・職能集会等への参加者 ・地区部会開催の研修等への参加者 ・未加入施設 2. 子ども（中高生）世代へのアプローチ 3. その他 ・協会PR（広報） ・新卒者・2年目研修でのPR ・ホームページの充実（特に非会員に向けた職能別の研修及び活動の検索の利便性）
検討内容	〔検討内容・過程〕 〔委員会開催状況：6回開催（別紙に詳細を記載）〕 1. 施設等会員代表者会と地区部会長会でのPR 2. 職能集会等でのPR検討 3. 未加入会員へのアプローチの検討 4. 看護学生研究発表会での入会案内 5. 子ども（中高生）世代へのアプローチ方法の検討 6. 協会PR（広報） 7. 准看護師へのアプローチ 8. 新卒者・2年目研修でのPR 9. ホームページの充実
検討結果	1. ①施設等会員代表者会(年2回)でのPR ・所属施設内の非会員に向けた入会勧奨依頼 ②地区部長会長会(年2回)でのPR ・委員会にて作成したチラシ（昨年より一部変更）と日本看護協会発行の職能別パンフレットを使用した入会勧奨の案内 ・地区の研修等に参加の非会員への入会案内配布依頼 2. 職能集会等でのPR検討 ・各職能集会・交流会等にて非会員に向けた入会案内配付 （チラシ、職能別入会案内パンフレット、賠償責任保険案内、クラブオフ案内、協会ニュース等） ・委員による看護師職能集会（11/18）、看護師Ⅱ交流会（12/8）、保健師職能集会（2/24）での入会勧奨 ・職能委員長による入会勧奨 3. 未加入会員へのアプローチの検討 ・昨年度作成の入会案内の見直し（裏面に、入会書類送付希望のFAX用紙を追加） ・地区部会や職能での研修参加者への入会勧奨 4. 看護学生研究発表会での入会案内 ・看護学生研究発表会抄録（11/17開催）配付時に、協会案内チラシ（看護学生向け）を配付 5. 子ども（中高生）世代へのアプローチ方法の検討 ・地区部会へ看護の日の事業に子ども向けのイベントを計画してもらえるか提案 6. 協会PR（広報） ・クラブオフの案内強化 7. 准看護師へのアプローチ ・2、3参照 8. 新卒者・2年目研修でのPR ・フレッシュセミナーと2年目研修の昼休みにクラブオフの利用案内スライドを再生 （対象2,090名のうち、66名がクラブオフに新規登録） 9. ホームページの充実 ・ホームページへのアクセス・検索方法が分かりやすくなるような検討が必要 （協会でも動き始めている）

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・非会員に向けた入会案内、協会PR ・子ども（中高生）世代へのアプローチ ・その他平成29年度からナースシップの運用が始まり、会員手続が変更されたため、運用状況等に合わせた入会案内を検討していく。
-------	--

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 5月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度諮問事項について 2. 平成29年度活動計画について 3. その他 	前年度までの活動についての説明と今年度の活動方針・内容についての検討
第2回	6月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設等会員代表者会と地区部会長会でのPR 2. 看護師職能領域Ⅱの職能集会でのPR 3. 未加入会員へのアプローチ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①施設代表者会・地区部会長会での配布資料の検討 1. ②入会案内のチラシの変更。裏面を利用したFAX用紙の作成。 2. 職能集会ではなく交流会に参加を検討 3. 地区の研修会でのPR検討
第3回	9月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師職能委員会でのPR検討 2. 看護学生研究発表会での入会案内配付依頼 3. 子ども（中高生）世代へのアプローチ方法の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師職能集会でのPR内容検討（日看協の保健師活動指針を参考） 2. 看護学生向けチラシの修正 3. 看護の日の地区部会のイベントへのアプローチ検討
第4回	10月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 准看護師交流会でのPR検討 2. 平成29年度中間報告のまとめ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入会案内のチラシの修正案→決定 2. 中間報告作成
第5回	11月30日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未加入会員（看護教員・精神領域）へのアプローチ方法の検討 2. 地域別入会率の格差についての検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①新設校での未入会の調査とPRの方法を検討 1. ②日精看へのアプローチ検討 2. 地区の格差について 地域の研修看護協会以外（保健所）との共催を検討
第6回	平成30年 1月25日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入会状況の確認 2. 平成29年度のまとめと次年度への課題 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 12月31日の時点で会員数26,644名 （目標：26,000名クリア） 2. まとめ

推 薦 委 員 会

委員長 神明 直美

I 活動のまとめ

所掌事務	役員等・推薦委員候補者及び職能委員の推薦
諮問事項	改選役員等・委員等の推薦 1. 改選役員、推薦委員、職能委員候補者の推薦 2. 公益社団法人日本看護協会通常総会代議員等候補者の推薦
現状と課題	1. 平成30年度に改選する役員、委員20名（会長1名、副会長1名、常任理事1名、理事3名、保健師職能委員2名、助産師職能委員1名、看護師職能委員〈領域Ⅰ〉3名、〈領域Ⅱ〉1名、推薦委員7名）について推薦する。 2. 平成31年度公益社団法人日本看護協会総会代議員は28名で、代議員・予備代議員候補者合計56名を推薦する。
検討内容	〔委員会開催状況〕計5回 開催 〔検討内容・過程〕 諮問事項について年間計画を立案し、役割分担し進めた。役割分担の進捗状況一覧表を作成し、メールで報告し合った。
検討結果	平成30年度の改選する役員6名、職能委員7名、推薦委員7名の推薦となった。5回の会議とメールでの会議の結果3月までに人選することができた。しかし、過程の中では、保健師の推薦は、看護協会への入会者も少なく、人選に苦慮した。 1. 平成30年度に改選する役員、委員20名（会長1名、副会長1名、常任理事1名、理事3名、保健師職能委員2名、助産師職能委員1名、看護師職能委員〈領域Ⅰ〉3名、〈領域Ⅱ〉1名、推薦委員7名）について推薦した。 2. 平成31年度公益社団法人日本看護協会総会代議員候補者について、地区部会の協力を得て、合計56名の代議員・予備代議員候補者を推薦した。
今後の課題	県内全域にわたり多くの施設からの選出を心掛けたが、結果的に地域や施設に偏りが生じている。また会員数が少ない職能(保健師職能・看護師職能領域Ⅱ)からの推薦者の選出にも苦慮している。偏りを緩和するためには、過去の役員の所属を参照しながら人選できることが望ましい。看護協会に協力をお願いしたいこととして、各役員の委員会等の開催回数、業務内容の詳細情報がほしい。

II 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 8月29日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員紹介 2. 推薦委員の設置について 3. 推薦委員会の諮問事項 4. 委員長、副委員長、書記選任 5. H29年度活動計画 6. 所掌事務に関する現状と課題 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 2,3の説明を受ける 4. 委員長：神明 直美 副委員長：須田 峰子 書記：田口 真由美 5. H29年度の年間計画を立てた10月中に継続の意向確認
第2回	10月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意向確認の状況 2. 人選と役割分担 3. 次回日程 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意向状況について報告 2. 役割分担を決め、次回までに人選がどうなったか報告する
第3回	12月1日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人選の進捗状況報告 2. 推薦委員候補者推薦 3. 次回日程 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 追加推薦について 理事は3～4名 保健師、助産師にお願いしたい。 *理事に保健師を検討したいが看護協会の加入が少なく人選が難しい 保健師職能委員：あと1名 助産師職能：決定 看護師職能Ⅰ：2名未決 看護師職能Ⅱ：決定 助産師職能：決定 推薦委員：2名決定 1名交渉中（保健師返事待ち）
第4回	平成30年 1月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事・監事・職能委員人選の進捗状況について 2. H31年度代議員の推薦依頼について 3. 推薦委員候補者推薦の進捗状況について 4. その他(次回開催予定) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事残り1名の保健師の候補者からは、承諾が得られていない ※保健師に関わらず、候補者を検討する 2. 看護師職能 残り1名の候補 3. 推薦委員 必要数7名のうち7名決定
第5回	3月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 候補者の推薦状況の確認について 2. 平成31年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について 3. 年度のまとめについて 4. その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師職能2名が未決定 1名は候補者あり。 2. 現時点の候補者状況を確認した 3. 委員推薦のバラつきがある。過去データを参考にし推薦していくことも必要ではないか。次年度の課題とする。 4. 今後の進め方の確認

特別委員会報告

ナースセンター運営委員会

委員長 星野 恵美子

本委員会は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」第15条の規定に基づいたナースセンター事業について協議することを目的として設置されている。

本年度は11名の委員で、委員会は1回開催した。

議事は前年度の事業実績と本年度の事業計画について、また、看護職の需要と供給に基づいた効果的な看護職の確保を図ることを目的に日本看護協会が試行的に取り組んでいる「看護職確保推進試行事業」の当ナースセンターの取組について報告した。

運営委員からは、「看護職確保推進試行事業」について、求人施設の拡大を図るために働きかけ、就業相談推進アドバイザーによるマッチング強化による求職者との条件すり合わせ等地域情報を活用した看護職確保についての意見が出された。具体的に看護大学の卒業生が県外に就業した若者が県内に戻る例が出てきているので、人の移動を上手くキャッチできる仕組みについての提案が出された。また、モデル地区として千葉市を選定しているが、「中小病院看護部長交流会」で急性期等に合わない新人看護職等を潜在化させず生活環境に併せて働いていける橋渡し・つなぎについて情報共有し地域の連携システム化も提案された。

他に、離職理由に、「師長・管理者との人間関係・コミュニケーション上手くとれない」があった。年代の離れた親世代とのコミュニケーションのとりかたで、師長クラス等の励ましや部署を持たないフリーの立場の副看護部長（局長）の様々な相談が受けられる体制などが離職を予防できることの実験談も出された。

今後 千葉県の看護職需要がどのくらい不足するかデータの示しが欲しいとの要望が出されたので、関係機関へ連絡することとした。

認定看護管理者教育課程運営委員会

委員長 石渡 祥子

本委員会は、千葉県看護協会認定看護管理者教育課程運営規程（以下運営規程）に基づき、教育課程の目的を達成するために企画運営及び受講者選考、修了審査に関する事項の審議機関として設置されている。

平成29年度の委員構成は、教育関係者4名、病院看護管理者2名、千葉県関係者1名、協会関係者3名の合計10名である。委員会開催は4回で、審議・報告事項は以下のとおりである。

【第1回 平成29年7月4日】

- 1 平成29年度第17回認定看護管理者教育課程セカンドレベル（以下セカンドレベル）受講者の選考・決定について
- 2 平成28年度第16回セカンドレベルの看護管理実践報告会について
- 3 認定看護管理者教育課程運営細則追加・改正について

【第2回 平成29年9月5日】

- 1 平成29年度第36回認定看護管理者教育課程ファーストレベル（以下ファーストレベル）受講者の修了審査について
- 2 平成30年度認定看護管理者教育課程申込書修正について
- 3 平成29年度第36回ファーストレベルのアンケート結果について

【第3回 平成30年1月11日】

- 1 平成29年度第17回セカンドレベル受講者の修了審査について
- 2 平成30年度認定看護管理者教育課程の計画について
- 3 平成29年度認定看護管理者教育課程のアンケート結果について
- 4 認定看護管理者教育課程運営規程および委員会細則について

【第4回 平成30年4月12日】

- 1 平成30年度第37回ファーストレベル受講者の選考・決定について
- 2 認定看護管理者教育課程運営細則追加・改正について
- 3 平成30年度ファースト・セカンドレベルの運営について
- 4 認定看護管理者カリキュラム基準改正について

【29年度実績】

- 1 第36回ファーストレベル開催（6/9～7/25）修了者83名
- 2 第17回セカンドレベル開催（9/1～11/24）修了者31名
- 3 第16回セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会開催(平成29年10月3日)
修了生33名中32名が発表
- 4 第17回セカンドレベル修了証明書授与式の特別講演をセカンドレベル修了者の公開講座として実施し、17名が受講した。

特別委員会報告

災害対策委員会

委員長 石井 美恵子

本委員会は、千葉県看護協会災害対策委員会設置要綱に基づき、千葉県内外において発生する災害に対し、千葉県看護協会が他団体との連携のもと、迅速かつ効果的な支援活動を行うにあたり必要な事項について検討することを目的に平成29年度に設置された。委員は、学識経験者、病院看護管理者、訪問看護ステーション所長、災害支援ナース、行政機関職員（県・市）、当協会理事から構成された10名の委員である。

本年度は3回開催し、審議事項は以下のとおりである。

【審議事項】

1. 当協会における災害対策に関する現状と課題について
2. 各機関における災害医療救護体制（災害時の対応、他機関との連携）について
3. 効果的な災害支援活動について

【平成29年度総括】

- ・当協会における災害支援ナースの派遣体制と現状の理解を得た上で課題の一つである本県が被災地となった場合の災害支援ナースの派遣要請の窓口の一本化について協議が行われた。結果、円滑・迅速な対応が求められることが共有され一本化する方向で合意された。
- ・各機関における災害医療救護体制（災害時の対応、他機関との連携）等の体制と課題について共有された。
- ・熊本地震における災害支援ナースの活動を踏まえ、今後県内における大規模災害発生時への対応について意見交換がされ、次年度でさらに検討を進めることとなった。

メ 毛

平成30年度 千葉県看護協会会長表彰

氏 名	施 設 名	氏 名	施 設 名
堀 あつ子	千葉大学医学部附属病院	末 吉 直 美	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災看護専門学校
戸 村 美智代	千葉大学医学部附属病院	飛 田 紀 子	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院
植 草 みさえ	千葉大学医学部附属病院	相 葉 れい子	独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院
菊 地 三枝子	千葉大学医学部附属病院	堀 江 奈緒美	独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院
新 井 典 子	千葉大学医学部附属病院	田 中 ひろ子	独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院
鬼 塚 恵 子	千葉大学医学部附属病院	池 田 有 香	独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院
森 恵 美	千葉大学大学院 看護学研究科	堀之内 弘 美	公益財団法人復光会 総武病院
蒲 池 由紀子	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	江 橋 留美子	公益財団法人復光会 総武病院
金 子 啓 子	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	豊 下 恵 子	公益財団法人復光会 総武病院
小 嵩 文 子	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	久保田 道 子	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
鍋 島 久 代	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	宮 下 智 枝	社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
小 野 真由美	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	工 藤 康 代	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院
中 村 直 子	千葉市立青葉病院	鈴 木 睦 子	東京歯科大学市川総合病院
小 原 きぬ代	千葉市立青葉病院	伊 藤 友 美	東京歯科大学市川総合病院
小 林 理美子	千葉市立青葉病院	林 信 子	東京歯科大学市川総合病院
市 原 勝 枝	千葉市立青葉病院	野 口 裕 子	東京歯科大学市川総合病院
白 壁 智 絵	千葉市立青葉病院	松 本 加代子	東京歯科大学市川総合病院
鈴 木 砂 織	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院	江 橋 延 江	東京歯科大学市川総合病院
田 代 道 代	千葉県救急医療センター	沢 村 優 子	東京歯科大学市川総合病院
渡 辺 聡 子	千葉県救急医療センター	沼 澤 真由美	東京歯科大学市川総合病院
高 橋 佳代子	医療法人社団普照会 井上記念病院	佐 藤 睦 美	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
阿 部 尚 子	医療法人社団普照会 井上記念病院	吉 本 美代子	松戸市立総合医療センター
西 牧 奈津恵	公益社団法人 千葉県看護協会	戸 張 真 弓	松戸市立総合医療センター
小 倉 由 美	千葉県がんセンター	松 田 留美子	松戸市立総合医療センター
藤 田 隆 子	千葉県がんセンター	上 條 京 子	松戸市立総合医療センター
實 方 由 美	千葉県がんセンター	瀬 戸 文 枝	松戸市立総合医療センター
荻 田 操	千葉県がんセンター	川 邊 紀 子	松戸市立総合医療センター
青 柳 麻衣子	千葉県がんセンター	松 本 弘 美	松戸市立総合医療センター
川 邊 ひとみ	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	渡 邊 千賀子	松戸市立総合医療センター
神 谷 明 美	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	牛 方 孝 子	松戸市立総合医療センター
藤 澤 和 子	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	大久保 洋 子	松戸市立総合医療センター
藤 本 文 子	独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター	井手橋 恭 子	松戸市立総合医療センター
荻 野 絹 子	医療法人柏葉会 柏戸病院	吉 永 順 子	松戸市立総合医療センター
荒 井 美代子	医療法人柏葉会 柏戸病院	田 野 けい子	松戸市立総合医療センター
平 山 君 江	医療法人柏葉会 柏戸病院	下 鶴 有 紀	松戸市立総合医療センター
藤 田 万智子	千葉県千葉リハビリテーションセンター	加賀谷 智亜紀	松戸市立総合医療センター
小 高 久美子	千葉県千葉リハビリテーションセンター	神 谷 麻衣子	松戸市立総合医療センター
津 島 久 美	千葉県千葉リハビリテーションセンター	金 田 春 美	松戸市立総合医療センター
鈴 木 佳 子	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災看護専門学校	木 下 由 美	松戸市立総合医療センター

氏名	施設名	氏名	施設名
倉持綾子	松戸市立総合医療センター	飯笹和子	東庄町国民健康保険東庄病院
森田まち子	I MSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	服部理恵子	地方独立行政法人 さんむ医療センター
花島恵子	I MSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院	大塚久美	地方独立行政法人 さんむ医療センター
川上美栄子	松戸市役所	田邊清美	大網白里市立 国保大網病院
志比田久美	医療法人聖峰会 岡田病院	宇井教恵	横芝光町役場
和久井晴美	キッコーマン総合病院	田中和子	公立長生病院
青木康子	キッコーマン総合病院	谷口弘	公立長生病院
永島千鶴子	キッコーマン総合病院	金澤知美	公立長生病院
渡辺京美	キッコーマン総合病院	向後紀美子	公立長生病院
中村明美	キッコーマン総合病院	堤綾	公立長生病院
藤浪実江子	流山市保健センター	村杉由美	公立長生病院
清祐子	流山市保健センター	榛澤則子	国保直営総合病院 君津中央病院
海老原容子	成田赤十字病院	中村由美子	国保直営総合病院 君津中央病院
谷村明子	成田赤十字病院	馬竹富美代	国保直営総合病院 君津中央病院
清宮裕子	成田赤十字病院	井上智子	国保直営総合病院 君津中央病院
滝口和子	成田赤十字病院	笠松裕子	国保直営総合病院 君津中央病院
大竹小織	成田赤十字病院	細工谷寿美子	国保直営総合病院 君津中央病院
藤方昌子	成田赤十字病院	斉藤博子	国保直営総合病院 君津中央病院
加瀬明美	医療法人積仁会 島田総合病院	一戸良子	国保直営総合病院 君津中央病院
佐藤清美	千葉県立佐原病院	山本百合香	国保直営総合病院 君津中央病院
伊藤文子	千葉県立佐原病院	池田由香	国保直営君津中央病院 大佐和分院
和田勝美	千葉県立佐原病院	山岸智子	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター
石渡麻衣子	千葉県立佐原病院	齊藤三千代	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
岩井由希子	千葉県立佐原病院	石田久美子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
高木恵	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	土屋和美	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
石毛香織	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	伊藤恵美	公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院
布施利江	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	渡辺恵美子	船橋市立医療センター
滑方玲子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	川崎志紀子	船橋市立医療センター
長谷川陽子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	小池純子	船橋市立医療センター
鈴木芳枝	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	長島洋子	船橋市立医療センター
堀内ゆかり	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	川俣照子	船橋市立医療センター
深田英子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	池田友美	船橋市立医療センター
高橋由起子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	石川美奈	船橋市立医療センター
島田純子	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	安東由美	船橋市立医療センター
渡邊恵	国保匝瑳市民病院	西畑真由美	船橋市立医療センター
古関昭枝	国保匝瑳市民病院	山田綾子	船橋市立医療センター
櫻井さとみ	国保多古中央病院	室谷智佳子	船橋市立医療センター
野平宏子	国保多古中央病院	植島亜樹子	船橋市立医療センター
小山田千恵子	国保小見川総合病院	山口佳子	船橋市立医療センター

氏名	施設名	氏名	施設名
久保木 由子	船橋市立医療センター	峯村 和香	帝京大学ちば総合医療センター
武村 妙子	船橋市立医療センター	飯村 晶子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
五十嵐 きよみ	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院	溝口 ユミ子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
原島 澄子	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院	滝口 由紀子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
清田 弘美	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院	高橋 直美	東京慈恵会医科大学附属柏病院
小池 美穂	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院	大熊 律子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
谷崎 知恵子	順天堂大学医学部附属浦安病院	鈴木 恵美子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
山本 育子	順天堂大学医学部附属浦安病院	浪花 圭子	医療法人社団恵仁会 セントマーガレット病院
樫村 美由紀	順天堂大学医学部附属浦安病院	清水 喜久江	医療法人 鎗田病院
今田 綾子	順天堂大学医学部附属浦安病院	清宮 裕美	医療法人社団有相会 最成病院
橋川 光江	千葉市立海浜病院	石川 真由美	医療法人社団誠馨会 総泉病院
椎名 こずえ	千葉市立海浜病院	七五三 忍	医療法人三省会 本多病院
田子 亜希子	千葉市立海浜病院	高橋 美智子	千葉県こども病院
植草 早利	千葉市立海浜病院	天内 眞由美	千葉県こども病院
伊藤 由美	千葉市立海浜病院	鈴木 美和	千葉県こども病院
水谷 幸子	千葉市立海浜病院	實 初 恵子	千葉県こども病院
伊東 真弓	千葉市立海浜病院	宮原 恵子	千葉県こども病院
安 蒜 恵子	千葉市立海浜病院	大古田 靖子	千葉県こども病院
庄司 章子	千葉市立海浜病院	木村 悦子	千葉県こども病院
嶋津 由美子	千葉市立海浜病院	小鷲 一美	千葉県こども病院
江原 由美	国際医療福祉大学市川病院	近藤 佳治子	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院
木村 純子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	石 黒 久美子	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院
工藤 静子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	小笠原 有希子	東邦大学医療センター佐倉病院
大島 陽子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	林 弥生	東邦大学医療センター佐倉病院
田畑 小百合	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	大野 量代	東邦大学医療センター佐倉病院
岡部 貴子	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	大峠 洋美	東邦大学医療センター佐倉病院
辻 あや子	医療法人三矢会 八街総合病院	勝又 由美	東邦大学医療センター佐倉病院
斉藤 典子	医療法人社団圭春会 小張総合病院	玉川 智子	東邦大学医療センター佐倉病院
柳澤 明子	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院	工藤 由花	東邦大学医療センター佐倉病院
高山 陽子	医療法人社団誠馨会 新東京病院	山本 美紀	東邦大学医療センター佐倉病院
山本 弘子	帝京大学ちば総合医療センター	久保田 俊子	東邦大学医療センター佐倉病院
伊東 朋子	帝京大学ちば総合医療センター	宮内 武利	東邦大学医療センター佐倉病院
川添 浩美	帝京大学ちば総合医療センター	森 洋子	東邦大学佐倉看護専門学校
阿部 真由美	帝京大学ちば総合医療センター	山口 千代子	医療法人社団庄和会 神崎クリニック
鎌滝 よしの	帝京大学ちば総合医療センター	西山 玲子	医療法人社団庄和会 神崎クリニック
鵜澤 恵	帝京大学ちば総合医療センター	高須 幾代	医療法人社団庄和会 神崎クリニック
鏡 まゆみ	帝京大学ちば総合医療センター	鈴木 明子	城西国際大学 看護学部
古橋 江美子	帝京大学ちば総合医療センター	田中 優子	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院
米山 まゆみ	帝京大学ちば総合医療センター	末吉 真由美	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

氏名	施設名	氏名	施設名
久保 睦 美	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院	成 松 玉 委	東京情報大学 看護学部
伊 藤 美 子	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院	牧 野 加代子	個人会員
武 井 真寿子	医療法人社団翠明会 山王看護専門学校	鈴 木 由美子	個人会員
高 島 久美子	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院	金 澤 明 子	個人会員
弓 田 千佳子	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院	鈴 木 靖 子	個人会員
花 澤 みどり	日本医科大学千葉北総病院	本 田 彰 子	個人会員
増 渕 美恵子	日本医科大学千葉北総病院	森 谷 伸 子	個人会員
青 山 晋 作	日本医科大学千葉北総病院	崎 山 綾 子	個人会員
石 井 龍 子	日本医科大学千葉北総病院	森 田 夏 実	個人会員
佐々木 優 子	日本医科大学千葉北総病院	駒 野 英 子	個人会員
菊 地 真由美	日本医科大学千葉北総病院	三 枝 初 代	個人会員
渡 辺 郷 美	日本医科大学千葉北総病院	望 月 あけみ	個人会員
藤 岡 久 恵	日本医科大学千葉北総病院	土 橋 千 春	個人会員
跡 治 美智代	日本医科大学千葉北総病院	村 田 重 子	個人会員
水 野 雅 子	日本医科大学千葉北総病院	綱 川 晴 美	個人会員
松 丸 雪 江	日本医科大学千葉北総病院	後 藤 則 子	個人会員
丸 山 美穂子	日本医科大学千葉北総病院	篠 崎 昌 代	個人会員
伊 藤 頼 子	日本医科大学千葉北総病院	鈴 木 昌 子	個人会員
栗 原 広 子	医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院	武 石 智保子	個人会員
三 橋 小由里	医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院	船 場 清 三	個人会員
在 原 美 加	千葉県循環器病センター	栗 城 弥 生	個人会員
木 村 尚 子	千葉県循環器病センター	中 村 史 子	個人会員
藤 田 智 子	千葉県循環器病センター	田 中 樹 子	個人会員
飯 嶋 由紀子	千葉県循環器病センター	奥 住 みつ子	個人会員
川 野 ゆかり	千葉県循環器病センター	飯 田 浩 行	個人会員
積 田 陽 子	千葉県循環器病センター	伊 藤 里 美	個人会員
大 野 麻 紀	千葉県循環器病センター		
宮 本 みづ江	東葉クリニックグループ		
細 野 みどり	匝瑳市訪問看護ステーション つばきの里		
高 橋 信 子	介護老人保健施設 ケアセンターかずさ		
荒 木 郁 美	医療法人SHIODA 塩田記念病院		
齋 藤 友 美	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター		
安 江 恵 子	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター		
横 田 智 子	医療法人樹徳会 佐倉整形外科病院		
山 影 洋 子	初石訪問看護ステーション		
中 山 理 恵	野田市役所 介護保険課		
瀬 戸 美佐子	社会医療法人社団木下会 介護老人保健施設シルバーケア常盤平		
斉 藤 裕 子	医療法人社団鎮誠会 季美の森リハビリテーション病院		
遠 藤 みさを	成田リハビリテーション病院		
			計299名

(敬称略。施設名は、千葉県看護協会会員管理システムに登録された名称を記載。)

看護職員の表彰

1. 叙勲その他国の表彰

平成29年 秋の叙勲

瑞宝双光章	太田 茂	元 独立行政法人国立病院機構千葉東病院	看護部長
瑞宝単光章	伊藤 時子	元 国保松戸市立病院 副院長兼看護局長 (現 松戸市立総合医療センター)	
瑞宝単光章	松本 幸子	元 千葉県こども病院	看護局長
瑞宝単光章	山本美佐江	元 国立大学法人千葉大学医学部附属病院	看護部 看護師長

平成30年 春の叙勲

瑞宝双光章	伊藤 幸子	元 組合立国保成東病院	看護部長 (現 地方独立行政法人さんむ医療センター)
瑞宝双光章	平山真理子	元 社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院	総看護部長
瑞宝単光章	稲田美枝子	元 独立行政法人国立病院機構下志津病院	看護部長
瑞宝単光章	久保 悦子	元 国立大学法人千葉大学医学部附属病院	副看護部長
瑞宝単光章	宮本ひろ子	元 社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団	千葉県千葉リハビリテーションセンター陽育園 看護師長

厚生労働大臣表彰

平成29年度優良看護職員厚生労働大臣表彰

石井 邦子	千葉県立保健医療大学
小島 英子	医療法人社団一心会初富保健病院
泉山 明美	医療法人友康会訪問看護ステーションゆうこう
宮本 祐子	松戸市立総合医療センター
菅谷 秋子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

平成29年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰

石川さゆり	千葉市若葉保健福祉センター
宮本 幸枝	千葉県君津健康福祉センター
井上 恵子	公益社団法人千葉県看護協会

2. 平成30年度千葉県看護功労者知事表彰（決定者）

猪野美佐緒	東金市保健福祉センター
岩澤 紀子	地方独立行政法人さんむ医療センター
大澤 豊子	学校法人帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科
小田美代子	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハビリテーションセンター
金澤美智子	横芝光町立東陽病院
木村 五子	松戸市立福祉医療センター東松戸病院
佐藤すみえ	船橋市立医療センター
鈴木美喜子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院
鈴木 康子	国保匝瑳市民病院
遠山美智子	君津中央病院企業団国保直営総合病院君津中央病院
響谷 順子	学校法人東京歯科大学市川総合病院
増渕美恵子	学校法人日本医科大学千葉北総病院
松井 聖子	国立大学法人千葉大学医学部附属病院
三浦美樹子	医療法人社団碩成会島田台総合病院
宮本みづ江 渡邊かをる	医療法人社団明生会東葉クリニック大網脳神経外科 いすみ医療センター

3. 平成30年度日本看護協会会長表彰

泉山 明美	医療法人友康会訪問看護ステーションゆうこう
伊藤さよ子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院
大木百合子	医療法人三省会本多病院
寺島 正子	公益社団法人千葉県看護協会
長谷川美穂	元 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院

（以上、敬称略。 現会員のみを記載。）

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

1. 生涯教育

(1) 生涯教育の実施状況(平成29年度生涯教育研修参加状況表参照)

29年度は、協会主催研修54コース(内新規研修7コース、トピックス研修4コース)、千葉県委託事業研11コース(内新人看護職員研修、新人助産師研修は実習有を含みそれぞれ2コースとした)、で65コース開催した。受講者数は8,197名(28年度7,408名)。全体の受講率は92.5%で、資格教育受講数684名(88.0%)、ステップアップ教育受講者数4,005名(100%)、看護実践教育受講者数2,820名(88.4%)、トピックス研修受講数688名であった。

教育計画の 카테고리別実施状況の内訳は以下のとおりである。

① 資格認定教育	11コース	684名
・ 認定看護管理者制度教育課程		
ファーストレベル教育課程(28日)		83名
セカンドレベル教育課程(38日)		31名
・ 医療安全管理者養成研修(7日)		105名
・ 心肺蘇生法トレーニングコース (BLS)		227名
・ 心肺蘇生法トレーニングコース (ACLS)		29名
・ 心肺蘇生法トレーニングコース (PEARS)		32名
・ 訪問看護師養成講習会		31名
☆千葉県教員養成講習会(158日)		29名
☆実習指導者講習会(40日)		62名
☆保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野7日)		42名
☆喀痰吸引等指導者講習会		13名
② ステップアップ教育	22コース	4,005名
(内訳)		
・ 段階別研修(新人、2年目、中堅、管理者等)		3,474名
・ 領域別研修(感染、災害、がん、糖尿病等)		531名
③ 看護実践教育	29コース	2,820名
・ 妊娠・出産の包括支援の推進		
～地域における切れ目のない妊娠・出産・子育てを推進するために今！保健師・助産師が連携してできること～		62名
・ 医療依存度の高い小児を支えるための地域包括ケア		
【公開研修 地域包括ケアを進めるための看護活動-3日目】		13名
・ 保健師実践能力向上研修		27名
～一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーションスキル～		
・ 医療安全基礎～チームステップス～		139名
・ 高齢者に起こりやすい機能低下と生活を支える看護(生活編)～病院から在宅へ～		105名
・ 食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント(在宅編)		23名
・ NICU看護師養成研修(生活モジュールを基盤とした在宅移行支援)		38名
④ トピックス研修	4コース	688名
NICU看護師養成研修(特別講演)		94名
平成30年度 介護報酬・診療報酬改定説明会(トピックス)		553名
【公開講座】千葉県教員養成講習会A.B(2コース)		41名
⑤ 千葉県委託事業研修(再掲)は9研修11コース実施)。 ☆千葉県委託事業研修		
(2) まとめ		

- ・ 29年度は、保健師対象の研修、保健師・助産師対象の研修、在宅支援を視野に入れた研修等を新規に7コース開催した。
- ・ 「保健師実践能力向上研修～一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーションスキル～」は、定員30名受講27名(受講率90%)であった。継続開催の希望が多く評価も高かった。また、「医療依存度の高い小児を支えるための地域包括ケア」の受講率は65%であったが、研修終了後も講師に質問をするなど、有効な内容であるとの感想が聞かれた。
- ・ 「妊娠・出産の包括支援の推進～地域における切れ目のない妊娠・出産・子育てを推進するために今！保健師・助産師が連携してできること～」は定員を大幅に超え62名(保健師18名、助産師44名)受講率155%であった。グループディスカッションでは、保健師・助産師の連携の必要性や支援内容について具体的な提案がされた。
- ・ 28年度診療報酬改定に伴う「認知症ケア加算2」の施設基準を満たす適切な基準に該当する「認知症看護研修」(2日間)を3回開催するとともに、前年同様「認知症高齢者の看護実践に必要な知識(インターネット配信研修)」を開催し、29年度も受講者数増に対応した。
- ・ トピックス研修は4コース開催し、「平成30年度介護報酬・診療報酬改定に伴う説明会」は受講者が553名であった。
- ・ 平成29年度は「生涯教育研修評価会議」を教育部内に設置し、研修アンケート、研修終了報告書等の評価項目により研修評価を実施し、会員のニーズに沿った研修や社会情勢に合わせた研修を新規に9コース計画し、30年度研修計画に導入した。

平成29年度 生涯教育研修 参加状況

研修No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	応募者数	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他			
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員				
1	医療安全管理者養成研修会【診療報酬加算対応】	7	8/7 ~ 8/18	120	112	105	105	-	-	3	-	102	-	-	-	-			
2	認定看護師教育課程ファーストレベル -第36回-	28	6/9 ~ 7/25 10/5	80	86	83	83	-	-	2	-	81	-	-	-	-			
3	認定看護師教育課程セカンドレベル -第17回-	38	9/1 ~ 11/27 2/14	30	32	32	31	1	-	2	-	28	-	-	-	-			
4	AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングBLSコース (一次救命処置)	A	1	6/3	60	71	59	57	1	-	1	-	52	2	1	-	-		
		B	1	6/4	60	62	58	58	2	-	1	-	51	2	2	-	-		
		C	1	11/18	60	69	60	59	2	-	2	-	52	2	-	1	-		
		D	1	11/19	60	69	55	53	-	-	1	-	49	-	3	-	-		
		計	4		240	271	232	227	5	-	5	-	204	6	6	1	-		
5	【船橋会場】AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングACLSコース (二次救命処置)	A	2	8/12 8/13	15	49	15	15	-	-	-	-	15	-	-	-	-		
		B	2	12/9 12/10	15	43	15	14	-	-	1	-	13	-	-	-	-		
		計	4		30	92	30	29	-	-	1	-	28	-	-	-	-		
6	AHA (アメリカ心臓協会) 心肺蘇生法トレーニングPEARSコース (小児救命処置)	A	1	7/21	18	16	15	15	-	-	2	-	13	-	-	-	-		
		B	1	7/22	18	18	17	17	-	-	1	-	15	1	-	-	-		
		計	2		36	34	32	32	-	-	3	-	28	1	-	-	-		
7	訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」	3	6/30 11/11 2/27	40	31	30	30	2	-	-	-	27	-	1	-	-			
7	【科目履修】訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」	B	1	2/27	1	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-			
8	★千葉県看護教員養成講習会	158	4/24 ~ 1/26	40	29	29	29	-	-	2	-	21	6	-	-	-			
60	★千葉県呼吸吸引等指導者養成講習	2	8/11 8/17	60	20	14	13	-	-	-	-	5	8	-	-	-			
61	★実習指導者講習会 (40日間コース)	40	10/4 ~ 12/8	60	91	62	62	-	-	2	-	60	-	-	-	-			
62	★実習指導者講習会 (特定分野7日間コース)	7	1/16 ~ 2/2	40	54	42	42	1	2	1	3	9	25	-	-	-			
	小計 (資格修得)			777	853	692	684	9	2	21	3	594	46	7	1	-			
9	★新人看護職員研修 (実習あり)	★新人看護職員研修 (情報管理・感染管理)	1	1	5/8	35	56	56	54	-	-	-	27	5	16	6	-		
		★新人看護職員研修 (摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度)	2	1	5/9	35	57	57	55	-	-	-	29	4	16	6	-		
		★新人看護職員研修 (フィジカルアセスメント)	3	1	5/10	35	72	72	70	-	-	-	37	8	16	9	-		
		★新人看護職員研修 (心電図・心肺蘇生法/BLS)	4	1	6/6	35	66	66	64	-	-	-	33	7	16	8	-		
		★新人看護職員研修 (スキンケア)	5	1	6/7	35	57	57	54	-	-	-	27	4	15	8	-		
		★新人看護職員研修 (与薬の技術と薬剤管理・医療安全)	6	1	9/12	35	67	67	63	-	-	-	34	5	15	9	-		
		★新人看護職員研修 (物品管理と経済効果・死後のケア)	7	1	11/2	35	65	65	57	-	-	-	35	3	14	5	-		
		計	15		260	457	457	434	-	-	-	-	234	37	112	51	-		
		11	★新人助産師研修 (実習あり)	15	6/15 ~ 10/24	10	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		12	★新人助産師研修 (産科補償制度・産科ガイドライン・助産ケアの実践)	★新人助産師研修 (ハイリスク妊産婦ケア)	2	1	6/21	20	12	12	12	-	-	6	2	3	1	-	-
				★新人助産師研修 (新生児のフィジカルアセスメントとケア)	3	1	6/22	20	9	9	9	-	-	6	1	1	1	-	-
				★新人助産師研修 (助産師のリスクマネジメント-産科救急・CTG判読-)	4	1	7/12	20	12	11	11	-	-	6	1	3	1	-	-
				★新人助産師研修 (糖尿病妊産婦へのケア)	5	1	7/13	20	11	10	10	-	-	6	2	2	-	-	-
				★新人助産師研修 (与薬の技術と薬剤管理・医療安全)	6	1	9/12	20	4	4	4	-	-	3	1	-	-	-	-
				★新人助産師研修 (母乳育児)	7	1	12/1	20	11	10	8	-	-	6	-	2	-	-	-
★新人助産師研修 (家族への支援・リフレクション)	8			1	10/24	20	9	8	8	-	-	6	1	1	-	-	-		
計	15				170	79	75	73	-	-	45	10	15	3	-	-	-		
13	★教育担当者研修会	5	8/30 8/31 9/1 9/21 9/22	60	72	66	66	-	-	2	-	62	2	-	-	-			
14	★実地指導者研修	A	3	9/27 9/28 9/29	120	149	129	128	-	-	5	-	113	10	-	-	-		
		B	3	10/25 10/26 10/27	120	126	123	122	-	-	4	-	111	7	-	-	-		
15	フレッシュセミナー (春・秋)	A	2	5/23 10/6	120	129	129	129	-	-	-	1	109	13	5	1	-		
		B	2	5/24 10/10	120	129	128	128	3	-	-	-	105	18	2	-	-		
		C	2	5/25 10/11	120	125	125	125	1	-	1	-	106	11	6	-	-		
		D	2	5/26 10/12	120	131	131	130	1	-	4	-	112	10	3	-	-		
		E	2	5/29 10/13	120	133	132	130	1	-	2	-	113	11	3	-	-		
		F	2	5/30 10/16	120	117	117	117	-	-	-	-	101	13	1	2	-		
		G	2	5/31 10/17	120	127	127	125	1	-	2	-	103	17	-	2	-		
		H	2	6/1 10/18	120	111	110	110	-	-	-	-	91	12	2	5	-		
		I	2	6/2 10/19	120	105	105	104	-	-	-	-	75	18	5	6	-		
		J	2	6/5 10/20	85	83	83	83	-	-	-	-	65	13	5	-	-		
計	20		1,165	1,190	1,187	1,181	7	-	9	1	980	136	32	16	-				
16	2年目ナースに求められるメンバーシップ	A	1	5/12	120	135	134	133	-	-	3	-	124	2	4	-	-		
		B	1	5/15	120	131	131	131	1	-	-	-	123	2	4	1	-		
		C	1	5/16	120	134	132	130	1	-	2	-	126	1	-	-	-		
		D	1	5/17	120	131	126	123	-	-	2	-	118	1	2	-	-		
		E	1	5/18	120	134	134	132	-	-	5	-	117	4	5	1	-		
		F	1	5/19	120	135	133	133	1	-	3	-	124	1	4	-	-		
		G	1	5/22	120	132	131	127	-	-	1	-	119	1	5	1	-		
計	7		840	932	921	909	3	-	16	-	851	12	24	3	-				
17	人を育てる臨地実習	2	1/18 1/19	120	120	115	111	1	-	7	-	98	5	-	-	-			
18	リーダーシップ研修 ~「看護とは」を考える~	2	11/21 11/22	100	91	91	91	-	-	2	-	85	4	-	-	-			
19	リーダーシップ研修 ~チーム力アップをめざすファシリテーション技法~	2	12/4 12/5	120	110	106	102	1	-	3	-	97	1	-	-	-			
20	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修【診療報酬加算対応】	2	1/24 1/25	100	130	118	111	-	-	5	-	106	-	-	-	-			
21	看護管理者研修	5	7/31 8/1 8/2 9/4 9/5	60	80	78	76	-	-	-	-	73	3	-	-	-			
22	医療事故の予防と看護管理者としての対応 (公開研修 No.21-1日目と合同研修)	1	7/31	80	73	71	70	1	-	1	-	67	1	-	-	-			
	小計 (段階別)			3,315	3,609	3,537	3,474	13	-	99	11	2,892	221	168	70	-			

研修No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	応募者数	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他		
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員			
3 ステップアップ教育 (領域別)	23	【インターネット配信研修(オンデマンド)】 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	2	8/3 8/4	150	109	105	105	1	1	2	-	97	2	2	-	-	
	24	災害医療と看護(実践編)【災害支援ナース登録要件研修】	2	3/1 3/2	70	60	56	56	-	-	1	-	54	1	-	-	-	
	25	災害支援ナース更新・再登録要件講習会	1	2/19	70	70	69	66	1	-	1	-	64	-	-	-	-	
	26	看護研究Ⅰ～初めて取り組む看護研究～	3	5/1 5/2 6/19	80	73	69	68	-	-	2	-	63	1	2	-	-	
	27	看護研究Ⅱ～研究論文を完成させる～	2	8/28 9/26	80	57	55	54	1	-	1	-	51	1	-	-	-	
	28	(新規)認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修 【セカンドレベル公開講座・特別講演】	1	2/14	20	18	18	17	1	-	-	-	16	-	-	-	-	
	29	糖尿病患者のセルフケア支援(基礎編)	1	11/14	120	109	107	105	-	-	-	-	99	3	3	-	-	
30	糖尿病患者のセルフケア支援(実践編)	1	12/19	100	67	64	60	-	1	-	-	57	-	2	-	-		
小計(領域別)					690	563	543	531	4	2	7	-	501	8	9	-	-	
中計(ステップアップ教育)					4,005	4,172	4,080	4,005	17	2	106	11	3,393	229	177	70	-	
4 看護実践教育	31	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できる研修その1～	1	5/18	40	15	15	15	-	-	15	-	-	-	-	-	-	
	32	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できる研修その2～	1	6/13	40	18	18	18	-	-	17	1	-	-	-	-	-	
	33	助産実践能力強化支援研修～CLoCMIPに活用できる研修その3～	1	8/1	40	18	18	18	-	-	18	-	-	-	-	-	-	
	34	(新規)妊娠・出産の包括支援の推進～地域における切れ目のない妊娠・出産・子育てを推進するために、今！保健師・助産師が連携してできること～	1	7/7	40	66	63	62	11	7	43	-	1	-	-	-	-	
	35	(新規)保健師実践能力向上研修～一瞬で伝わるテレビ式プレゼンテーション～	1	12/2	30	29	27	27	21	6	-	-	-	-	-	-	-	
	36	看護管理に活用できる職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント	2	12/6 12/7	100	71	71	67	-	-	6	-	61	-	-	-	-	
	37	身体疾患を持ったうつ傾向にある患者への関わり方を学ぼう	1	12/8	100	69	67	63	-	-	1	-	56	2	4	-	-	
	38	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(基礎編)	1	1/17	100	122	103	92	-	-	1	-	78	-	13	-	-	
	39	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(実践編)～病院から在宅へ～	1	2/20	100	125	115	105	-	-	4	-	95	1	5	-	-	
	40	がん患者への療養支援～最新のがん治療と看護～	3	11/8 11/9 11/10	150	107	106	105	-	-	-	-	105	-	-	-	-	
	41	手術看護～外回り看護のエビデンスを学ぼう～	1	10/28	120	96	92	89	-	-	1	-	79	4	5	-	-	
	42	急性期の看護～循環器のアセスメント力を高めよう～	A	2	1/22 1/23	150	141	134	132	1	-	2	-	127	1	1	-	-
			B	2	3/8 3/9	150	104	92	89	-	1	-	-	86	1	1	-	-
	43	エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修	A	2	1/10 1/11	60	75	60	60	2	-	-	-	58	-	-	-	-
			B	2	2/7 2/8	60	79	60	59	-	-	1	-	58	-	-	-	-
	44	食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント(病院編)	2	11/15 11/16	120	116	111	109	3	-	-	-	100	-	6	-	-	
	45	(新規)食べたいをかなえる！経口摂取ケアのポイント(在宅編)	1	12/12	60	25	24	23	-	-	-	-	21	1	-	1	-	
	46	看護師としての成長を支えるリフレクション	1	11/24	80	70	65	64	-	-	2	-	61	-	1	-	-	
	47	医療安全基礎～危険予知トレーニングKYT～	1	12/20	100	150	144	136	1	-	2	-	117	5	9	2	-	
	48	(新規)医療安全基礎～チームステップス～	1	1/16	100	171	148	139	-	-	4	-	130	2	3	-	-	
	49	最新の褥瘡予防とケア	A	2	11/28 11/29	150	153	148	145	-	-	-	-	129	3	10	3	-
			B	2	12/21 12/22	150	106	100	95	-	-	2	-	84	1	6	2	-
	50	看護の日常にある倫理と法	2	1/30 1/31	120	91	87	82	-	-	7	-	74	-	-	1	-	
	51	感染管理	A	3	7/27 7/28 8/25	120	91	84	82	-	-	-	1	79	1	1	-	-
			B	3	8/21 8/22 9/19	120	114	107	103	1	-	2	1	96	2	1	-	-
	52	在宅・介護施設等における看取りの看護～スピリチュアルケア・終末期のケア～	1	7/26	40	79	77	73	-	-	-	-	63	5	5	-	-	
	53	地域包括ケアを進めるための看護活動	3	10/31 11/6 11/7	120	132	125	124	1	-	1	-	122	-	-	-	-	
	54	(新規)医療依存度の高い小児を支える地域包括ケア(公開研修 No.53-3日目と合同研修)	1	11/7	20	18	14	13	6	7	-	-	-	-	-	-	-	
	55	訪問看護におけるフィジカルアセスメント(公開研修 No.7訪問看護師養成講習会2日目と合同研修～)	1	11/11	60	18	17	16	-	-	-	-	14	2	-	-	-	
	56	認知症看護研修【診療報酬加算対応】	A	2	4/20 4/21	120	140	132	132	-	-	-	-	131	1	-	-	-
			B	2	8/23 8/24	120	326	147	146	1	-	1	-	144	-	-	-	-
C			2	3/6 3/7	120	250	148	140	2	-	-	-	138	-	-	-	-	
57	認知症高齢者の看護実践に必要な知識(インターネット配信研修)【診療報酬加算対応】	2	12/14 12/15	150	179	160	159	1	-	1	-	151	6	-	-	-		
59	★NICU看護師育成研修 ～生活モデルを基盤とした在宅移行支援～	A	5	6/3 7/1 8/11 9/9 12/2	20	21	21	21	-	-	-	-	16	5	-	-	-	
		B	5	8/11 9/9 10/7 11/4 2/10	20	19	18	17	-	-	-	-	15	2	-	-	-	
小計(看護実践)					3,190	3,404	2,918	2,820	51	21	131	3	2,489	45	71	9	-	
小計	★公開講座 平成29年度千葉県看護教員養成講習会「特別講義」	A	0.5	11/17	50	22	22	20	-	-	2	1	16	1	-	-	-	
		B	0.5	1/23	40	35	35	21	-	-	2	-	17	2	-	-	-	
	★トピックス NICU看護師養成研修「特別講演」	1	7/8	100	109	109	94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94	
63	トピックス 平成30年度介護報酬・診療報酬改定説明会	1	3/31	700	611	576	553	2	-	23	-	509	19	-	-	-		
小計					890	777	742	688	2	-	27	1	542	22	-	-	94	
合計					8,862	9,206	8,432	8,197	79	25	285	18	7,018	342	255	80	94	

第35回千葉県看護研究学会

研修No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	応募者数	決定者数	受講者数	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他	
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員		
学会	千葉県看護研究学会(一般)	A	1	2/26	500	384	378	365	3	-	21	4	309	16	10	1	1
		B	1	2/26													
合計					500	384	378	365	3	-	21	4	309	16	10	1	1

衛星通信研修(主催:ヴェクソンインターナショナル株・S-QUE研究会)

研修No	研修名	実施日数	研修開催日	定員	受講者数
その他	重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	1	6/18	150	140
	診療・介護報酬同時改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修	1	11/5	150	141
	合計			300	281

2. 第36回千葉県看護研究学会

(1) 目的

看護活動の取り組みを研究として発表し、成果や課題を各施設間で共有することで看護の資質向上を図る。

(2) テーマ 「ふれる看護！かながえる看護！つなぐ看護 ―実践と研究の連鎖―」

(3) 日時 平成30年2月16日(金) 9:20~16:00

(4) 場所 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>

(5) プログラム

①開会式 9:25~9:55 第35回最優秀賞・優秀賞表彰式

②特別講演 10:00~11:30

テーマ「ふれる看護！かながえる看護！つなぐ看護

―日々の疑問の種から看護研究へつなげる―

講師 淑徳大学 看護栄養学部 教授 茂野香おる氏

③ミニレクチャー 11:40~12:10

テーマ「日々の実践と看護研究をつなぐ倫理的配慮」

講師 千葉科学大学 看護学部 講師 市原真穂氏

④研究発表 13:00~15:40 口演 30題 示説 14題 合計44題

⑤看護研究支援 13:30~15:30 (相談支援、文献検索等)

(6) 総参加者数 総数417名

(7) まとめ

- ・千葉県看護研究学会の開催は36回をむかえた。申込み演題数は44演題であり、昨年度（48演題）を下回った。これは、各施設の倫理審査項目が厳しくなったことも原因と考えられる。
- ・参加者数は417名であり、平成28年度より24名減少している。今年度は、学会メインテーマを「ふれる看護！かながえる看護！つなぐ看護！―実践と研究の連鎖―」とし、ポスター・ホームページ等で参加を呼び掛けたが、効果が得られなかった。
- ・28年度の研究発表の内、示説はポスター内容が見えづらかったり、発表者の声が聞きとりにくい等の意見が実行委員から出ていたことから、29年度はポスターの大きさ等を指定し、発表者の声が聞こえやすいようにマイクを工夫した。
- ・看護研究支援は、会員が看護研究に取り組める支援を行なうため、アドバイザーを前年度より2名増員し、4名とし、図書司書1名の5名体制とした。

相談者は研究の取り組みが初めて、または指導的立場の看護職で相談内容は、研究テーマ・研究の進め方・文献検索方法・指導者としての役割・倫理について等であった。

研究支援が研究への取り組みに繋がると良いと思われる。

Ⅱ 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

1. 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業

【平成29年度 看護職のWLB推進ワークショップ】 プログラム

開催日程 平成29年10月19日(木)・20(金) 2日間
 開催会場 千葉県看護会館 2階中研修室
 参加者 参加施設、WLB推進部会等メンバー、オブザーバー

〈1日目：10:00～16:00〉

時間	内 容	講師・担当者	司会等
10:00～10:05 (5分)	あいさつ	千葉県看護協会長	寺口理事
	講 義 テーマ —看護職が働き続けられるために—		
10:05～11:05 (60分)	1. 「組織的な取組みをめざして～職員の勤労意欲と満足感～」	千葉県病院局経営管理課 副参事 氏原 強	
11:05～11:35 (30分)	2. 「事例発表：WLB推進の取組み 3年目報告 ～ 2年間の取組みから見えてきたこと ～」	取組み3年目 日本医科大学千葉北総病院 副看護部長 遠藤 みさを	
11:35～12:00 (25分)	3. ワーク・ライフ・バランスが職場に根付く取組み方とは	千葉県看護協会 WLB推進アドバイザー 山田みどり	
12:00～13:00	昼 食		
13:00～16:00 (180分)	個別ワーク（各施設毎で作業） ・進め方のオリエンテーション ・インデックス調査結果の分析 ・自施設の問題・課題の確認、優先度の明確化 ・目標の設定 ・アクションプランの立案 ※随時、支援者、推進者、WLB推進部会メンバー等の 助言を受けながら進めていく	千葉県看護協会 WLB推進者・支援者	寺口理事

〈2日目：10:00～15:30〉

時間	内 容	講師・担当者	司会等
10:00～12:00 (120分)	個別ワーク（各施設毎で作業）	千葉県看護協会 WLB支援者他	寺口理事
12:00～13:00	昼 食		
13:00～14:00 (60分)	個別ワーク（各施設毎で作業）	千葉県看護協会 WLB支援者他	寺口理事
14:00～15:00 (60分)	各施設の発表（3施設、各施設20分） ①最成病院②君津中央病院③セコメディック病院 ・自施設の分析結果(問題、課題、優先度、その根拠、 推進体制づくり) 及びアクションプラン(案)を発表 参加施設、2年目取組み施設、 WLB推進部会メンバー等と討議を行う	千葉県看護協会 WLB推進者・支援者	寺口理事
15:00～15:20 (20分)	全体討議、意見交換、総評		WLB推進部会 澤田専務
15:20～15:30 (10分)	フォローアップワークショップ(平成30年2月1日) について説明		井上部長

看護職のWLB推進フォローアップワークショッププログラム

1. 目的：ワークショップ後の各施設での取組みについて、情報を共有すると共に意見交換を行い、次年度以降の各施設における取組み課題を明確にする。
2. 開催日時：平成30年2月1日（木）10時00分～14時50分
3. 開催会場：千葉県看護会館2階大研修室
4. 参加者：参加施設、ワーク・ライフ・バランス推進部会委員(支援者、推進者)及び事務局、傍聴者等
5. 内 容 司会：寺口理事

時 間	内 容	担 当
9：55～10：00	オリエンテーション	寺口理事
10：00～10：05 10：05～10：20	あいさつ今年度の取組みについて	澤田専務 山田アドバイザー
10：20～10：40 10：40～11：00 11：00～11：20 <各施設20分>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">各施設の報告</div> 1 最成病院 2 君津中央病院 3 セコメディック病院 —報告内容— ①病院概要 ②推進体制づくり ③アクションプラン ④アクションプランの実施状況 ⑤次年度に向けての取組み計画、課題	
11：20～11：40	質疑応答・総評	WLB推進部会等
11：40～12：40	昼 食	
12：40～12：55 12：55～13：10 13：10～13：25 <各施設15分>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">取組み2年目施設の進捗状況について</div> 1 千葉県済生会習志野病院 2 成田赤十字病院 3 国保大網病院	
13：25～13：45	質疑応答・総評	WLB推進部会 澤田専務
13：45～13：55	休 憩	
13：55～14：45 講義40分 質疑応答10分	講 演 テーマ：1 職場復帰支援について 2 始業前時間の取扱いについて 講 師：千葉労働局 雇用環境・均等室 働き方・休み方改善ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄﾞ 坂上和芳氏	
14：45～14：50	事務連絡・今後のスケジュール	事務局

2 看護進路相談事業

ふれあい看護体験事業

- (1) 目的 中・高校生等が病院や介護施設において、看護師の看護実践場面の見学や体験をとおして看護を実感することにより、看護についての関心を高め、理解を深めることにより看護を志す人材を確保する。
- (2) 実施期間 平成29年5月～平成30年3月
- (3) 受入施設 103施設
- (4) 実施延施設 153施設
- (5) 参加人数 1,512名
- (6) 実施内容
- | | |
|----------------|------------------|
| ① 看護についての説明 | ② 院内見学 |
| ③ ベッドメイキング | ④ 清拭、手浴、足浴等清潔の介助 |
| ⑤ 移動の介助（車椅子移動） | ⑥ 食事介助 |
| ⑦ バイタルサイン測定 | ⑧ 看護に係わる進路相談等 |
- (7) 参加者の感想
- ・看護師同士の仲が良く、パートナー制で協力しながら患者と向き合う姿に、あらためて看護師はすばらしい職業だと思った。
 - ・自分の希望する分野の見学や体験ができ、自分の将来について更に考えることができた。
 - ・色々な道具の使い方等を細かく教えていただき、わかりやすかった。将来必ず看護師になりたいので、とても良い経験になった。
- (8) 受入施設の感想
- ・参加者は近隣の高校生で、実習を受けている看護学校に進学予定とのことで、力がいった。全員の進路が看護師という明確なものであり、看護師になってからのキャリアやチーム医療等の話ができた。来年度は受入日数を増やしたい。
 - ・受入スタッフは、看護を目指す学生等の姿を見て、「看護師になる夢をどう後押ししようか」「初心を忘れてはいけない」等の前向きな姿勢になれたとの声があった。

進路相談事業

- (1) ナースセンターにおける進路相談

項目	一般	高校	中学	教師	保護者	その他	計
電話相談	14	1	0	7	5	6	33
面接	0	0	0	0	0	0	0
メール	2	3	0	1	0	1	7
FAX・郵便	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	4	0	8	5	7	40

- (2) 出前授業（出張相談含む）

No.	学校名	実施日	参加者数
1	千葉市立越智中学校	6/21	66
2	香取市立山田中学校	7/6	72
3	千葉市立こてはし台中学校	10/4	150
4	柏市立柏中学校	10/11	201
5	千葉市立磯辺中学校	11/2	196
6	横芝光町立光中学校	11/2	111
7	横芝光町立横芝中学校	11/24	92
8	千葉市立さつきが丘中学校	11/21	92
9	千葉市立高洲第一中学校	12/6	115
10	東金市立東中学校	12/8	154

No.	学校名	実施日	参加者数
11	船橋市立高根台中学校	1/23	96
12	千葉市立犢橋中学校	2/15	61
13	柏市立柏中学校	3/7	160
14	千葉県立匝瑳高等学校	6/16	20
15	千葉県立鶴舞桜が丘高等学校	7/14	238
16	千葉県立八千代高等学校	10/3	40
17	千葉県立千葉女子高等学校	10/24	34
18	千葉商科大学付属高等学校	10/24	318
19	わせがく高等学校勝田台学習センター	11/7	45
20	千葉県立旭農業高等学校	12/15	450
合計（名）			2,711

【授業内容】

- ・いのちの大切さ、こころとからだの話
- ・看護職の仕事（仕事内容・魅力、体験談等）
- ・看護職への道（資格の取り方、進路の説明等）
- ・看護技術の体験（心音聴取、血圧・脈拍測定等）

3 ナースセンター事業

(1) 看護職の職業紹介事業

ナースセンター登録状況

① 新規受付登録者数（人）

* 仮登録者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保健師	11	2	3	7	2	4	6	2	1	7	1	6	52
助産師	5	0	2	0	2	0	2	3	0	0	4	2	20
看護師	50	63	49	35	31	41	46	31	24	40	31	49	490
准看護師	9	4	5	2	4	4	2	8	3	1	7	5	54
未記入*	3	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	3	12
合計	78	69	59	45	39	49	56	45	29	48	46	65	628

② 求人登録数

* 求人登録有効期間 6か月

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計(人)
病院	3	11	407	14	435
診療所	3	6	153	36	198
訪問看護ステーション	0	0	168	0	168
介護保健施設等	0	0	215	32	247
社会福祉施設等	1	0	29	0	30
県・市町村	8	2	1	0	11
事業所等	4	0	11	32	47
学校等	2	0	27	0	29
その他	10	0	60	4	74
合計	31	19	1071	118	1,239

(平成30年3月末現在)

(2) 届出制度（平成29年4月1日～平成30年3月31日まで）

951人			
就業意志があると思われる者	485人 (51.0%)	左記以外の届出者	466人 (49.0%)
直ぐに就職したい	39人	就業中(看護職等)	332人
いずれ復職したい	102人	就業中(看護職外)	20人
意志あり時期未定	344人	その他(未記入含)	114人

(3) 看護基礎技術講習会

目的：潜在看護職及び求職中の看護職で、看護基礎技術に不安があり、再学習及び再習熟を希望している方を対象に、ナースセンターにおいて看護基礎技術を体験、習熟する場を確保し、支援することにより再就業への動機づけとする。

参加状況

参加者	76名	参加者年齢(名)	合計(名)	参加者年齢(名)	合計(名)
就業者	34名	20歳～29歳	8	50歳～59歳	8
就業率	44.74%	30歳～39歳	19	60歳以上	2
		40歳～49歳	39	合計	76

参加者の背景

経験年数	人数(名)	ブランク	人数(名)
1年未満	10	1年未満	14
1年～5年	31	1年～5年	12
6年～9年	13	6年～9年	9
10年～14年	10	10年～14年	17
15年～19年	5	15年～19年	12
20年以上	7	20年以上	12
合計	76	合計	76

(4) 看護職の定着確保にかかる調査

① 看護職の定着確保動向調査

調査目的：看護職の定着確保対策の一環として、毎年、新人看護職の現状や、離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件、さらに、病院における看護職の需給動向や教育研修体制、労働条件、定着確保対策を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料とする。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成29年9月1日～平成29年9月15日
千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講生	フレッシュセミナーにて調査票を配布・回収	平成29年 10月6, 10, 11, 12, 13, 16, 17, 18, 19, 20日
県内病院の看護管理者	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成29年8月25日～平成29年9月8日

調査結果の概要

ア. 千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

対象数：246名 回収数：78名（回収率：31.7%）

(ア) 求職者の現住所

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
18	3	15	11	2	11	9
23.1%	3.8%	19.2%	14.1%	2.6%	14.1%	11.5%
利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
2	2	1	2	0	0	2
2.6%	2.6%	1.3%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%

(イ) 年齢

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
0	11	22	25	8	9	3
0.0%	14.1%	28.2%	32.1%	10.3%	11.5%	3.8%

(ウ) 離職時の職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
4	3	62	7	2
5.1%	3.8%	79.5%	9.0%	2.6%

(エ) 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
3	11	11	12	10	11	15	5
3.8%	14.1%	14.1%	15.4%	12.8%	14.1%	19.2%	6.4%

(オ) ブランク期間

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
64	4	4	4	2
82.1%	5.1%	5.1%	5.1%	2.6%

(カ) 離職時の雇用形態

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
49	25	2	2
62.8%	32.1%	2.6%	2.6%

(キ) 離職理由

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児 子供のため	配偶者の 転勤	老親の世話 家族の介護	家事と両立 しない	健康上の理由	自分の適正 能力への不安	Uターンの ため
4	5	12	15	9	4	2	9	6	1
5.1%	6.4%	15.4%	19.2%	11.5%	5.1%	2.6%	11.5%	7.7%	1.3%

通勤困難	転居	他分野への 興味	進学	看護職に向 いていない	人間関係	看護内容 への不満	継続教育が ない	賃金への 不満	労働時間へ の不満
1	15	6	2	0	11	12	1	6	8
1.3%	19.2%	7.7%	2.6%	0.0%	14.1%	15.4%	1.3%	7.7%	10.3%

夜勤回数が 多い	残業量が 多い	福利厚生が 十分でない	休みが 取れない	その他
3	3	0	7	6
0	3.8%	3.8%	0.0%	9.0%

その他 ○就業・業務内容の相違 ○閉院 ○日勤のみで働きたい ○事業縮小
--

(ク) 就業条件

保育所がある (夜間保育含む)	育児制度が 利用できる	介護休暇が とれる	休みがとり やすい	超過勤務が 少ない	夜勤回数が 少ない	夜勤がない	柔軟な勤務 形態の導入	自分の希望 する給与	通勤に便利 な職場
8	5	2	43	23	1	26	25	3	35
10.3%	6.4%	2.6%	55.1%	29.5%	1.3%	33.3%	32.1%	3.8%	44.9%

看護内容が 充実している	自分の能力が 活かせる	継続教育が 充実している	希望する看護 領域である	資格取得支援 がある	無回答
9	13	7	9	3	0
11.5%	16.7%	9.0%	11.5%	3.8%	0.0%

イ. 千葉県看護協会主催のフレッシュセミナー受講中の看護職

対象数：1,123名 回収数：1,081名（回答率：96.3%）

(ア) 性別

女性	男性	無回答
942	137	2
87.1%	12.7%	0.2%

(イ) 卒業した看護師等学校養成所

大学院	大学	看護学校	保健師学校	助産師学校	准看護師学校	その他	無回答
7	352	637	2	3	30	24	26
0.6%	32.6%	58.9%	0.2%	0.3%	2.8%	2.2%	2.4%

その他

○5年一貫高校 ○看護短期大学 ○高等学校専攻科 ○衛生看護専攻科 ○日本語学校 ○EPA
--

(ウ) 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
13	10	963	40	55
1.2%	0.9%	89.1%	3.7%	5.1%

(エ) 勤務形態

常勤	非常勤	無回答
1064	0	17
98.4%	0.0%	1.6%

(オ) 現在の就業施設の所在地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷
188	63	201	18	30	29	137	67	10	21
17.4%	5.8%	18.6%	1.7%	2.8%	2.7%	12.7%	6.2%	0.9%	1.9%

君津	安房	県外	無回答
73	155	0	89
6.8%	14.3%	0.0%	8.2%

(カ) 施設規模・施設等

病院							無床診療所	有床診療所	市町村
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	床数不明			
17	106	140	161	202	323	1	0	1	1
1.6%	9.8%	13.0%	14.9%	18.7%	29.9%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%

健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他	無回答
0	1	1	1	0	126
0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	11.7%

(キ) 社会人経験について

ある	ない	無回答
220	843	18
20.4%	78.0%	1.7%

(ク) 辞めたいと思ったことの有無

ある	ない	無回答
738	330	13
68.3%	30.5%	1.2%

(ケ) 辞めたいと考えた理由

勤務時間内の仕事が終わらない	415	38.4%
自分は看護職に向いていないのではないかと思う	400	37.0%
配属部署の専門的な知識や技術が不足している	379	35.1%
医療事故を起こさないか心配である	356	32.9%
基本的な技術が身についていない	316	29.2%
自分の看護が患者のニーズにこたえているか自信がない	287	26.5%
仕事の優先順位が付けられない	276	25.5%
自分のペースで仕事ができない	259	24.0%
職場の先輩に質問しづらい	221	20.4%
ヒヤリハットレポートを書いた	188	17.4%
看護職を辞めたいと思っている	176	16.3%
職場の雰囲気になじめない	174	16.1%
就職前に考えていた看護の仕事とギャップが大きい	166	15.4%
与えられる課題等があつて休日に休めない	159	14.7%
看護業務以外の業務が多すぎると感じる	141	13.0%
受け持ち患者が多すぎる	137	12.7%
プリセプターと合わない	101	9.3%
十分な教育研修が受けられていないと感じる	93	8.6%
医師との意思疎通がうまくいかない	89	8.2%
患者及び家族とのコミュニケーションがうまくとれない	77	7.1%
夜勤に入るのが早いと感じる	71	6.6%
プリセプターからの1人立ちが早いと感じる	67	6.2%
電話の対応がうまくできない	66	6.1%
直属の上司からサポートが得られない	54	5.0%
交代制の勤務に慣れない	44	4.1%
院内のITシステムがうまくいかない	27	2.5%
夜勤のリーダー業務が負担である	13	1.2%
無回答	1	0.1%

(コ) 辞める事を思いとどまった理由

生活していくための手段	424	39.2%
自分なりに整理がついたから	197	18.2%
収入が安定しているから	174	16.1%
同僚に相談し、再度やる気になったから	164	15.2%
職場環境が仕事をしやすい環境だったから	90	8.3%
上司に認めてもらえたから	51	4.7%
師長等中間管理職に相談し、再度やる気になったから	48	4.4%
目的・目標を持てたから	45	4.2%
看護管理者が尊敬できたから	34	3.1%
仕事にいきがいを感じたから	27	2.5%
給料が仕事に見合っていたから	18	1.7%
研修の機会が用意されたから	9	0.8%
結婚・出産・育児に家族の協力が得られたから	4	0.4%
その他	97	9.0%

その他

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| ○奨学金返済のため | ○辞めづらい | ○先輩・プリセプターのサポート |
| ○業務・環境改善 | ○患者様からの感謝 | ○3年以内に辞めても仕方がない |
| ○部署異動 | ○同期励まし・存在 | ○意地・負けたくない |
| ○生きるため | ○家族のため | ○再就職が難しい |

ウ. 求人施設（県内病院の看護管理者）

対象施設数：287施設 回収数：189施設（回収率：65.9%）

(ア) 施設の所在地

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	無回答
35	10	28	12	13	21	15	16	6	10	12	11	0
18.5%	5.3%	14.8%	6.3%	6.9%	11.1%	7.9%	8.5%	3.2%	5.3%	6.3%	5.8%	0.0%

(イ) 稼働病床数

	一般病棟	療養病棟	結核病棟	精神病棟	その他
許可稼働数	27,396	5,786	134	6,574	4,993
稼働病床数	23,773	5,103	83	4,932	4,701

(ウ) 地域との連携体制 連携する部署

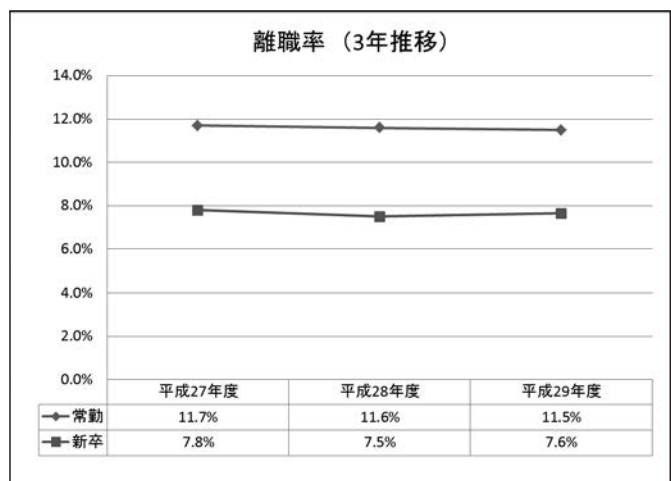
あり	なし	無回答
126	40	23
66.7%	21.2%	12.2%

(エ) 許可病床数分布及び回答率

	千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房
99床以下 (n= 90)	10 11.1%	3 3.3%	3 3.3%	2 2.2%	2 2.2%	5 5.6%	1 1.1%	2 2.2%	1 1.1%	2 2.2%	4 4.4%	3 3.3%
100-199 (n= 88)	9 10.2%	2 2.3%	8 9.1%	4 4.5%	6 6.8%	4 4.5%	7 8.0%	8 9.1%	2 2.3%	7 8.0%	4 4.5%	4 4.5%
200-299 (n= 47)	7 14.9%	2 4.3%	6 12.8%	1 2.1%	0 0.0%	4 8.5%	1 2.1%	4 8.5%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.4%
300-399 (n= 29)	5 17.2%	1 3.4%	5 17.2%	2 6.9%	3 10.3%	3 10.3%	1 3.4%	1 3.4%	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%
400-499 (n= 17)	3 17.6%	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
500床以上 (n= 16)	1 6.3%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%
計	35	10	28	12	13	21	15	16	6	10	12	11

(オ) 常勤看護職員の離職率 11.5%

(カ) 新卒看護職員の離職率 7.6%



(キ) 規模別 離職率

	99床 以下	100-199	200-299	300-399	400-499	500床 以上
常勤	9.2%	11.8%	12.9%	12.5%	10.0%	11.2%
新人	0.0%	21.5%	8.7%	7.8%	6.4%	6.5%
新人採用延べ人数	20	136	205	317	378	935
新人採用有施設数	11	30	25	19	19	15
1施設あたりの平均人数	1.8	4.5	8.2	16.7	19.9	62.3

(ク) 看護職員の超過労働を減らす具体的な対応策（複数回答）

	対策している（n= 172）							対策して いない	無回答
	看護職員の増員	看護職員以外の 職員の増員	看護職員の業務 分担の見直し	看護職員と他職 種との業務調整	業務量に応じた 柔軟な人員配置	その他	特になし		
172	79	73	142	108	99	11	0	15	2
91.0%	45.9%	42.4%	82.6%	62.8%	57.6%	6.4%	0.0%	7.6%	1.1%

○時差出勤	○変形労働時間	○看護記録のテンプレート化
○電子カルテの導入	○業務委託	○ベトナム国籍学生のアルバイト採用
○WLB推進事業参加	○業務改善	○他部門との応援体制

(ケ) 多様な勤務形態導入状況（複数回答）

	導入している（n= 122）										導入して いない	無回答
	フレックス タイム	ワーク・シェ アリング	時差出勤 終業	在宅勤務	学期間労働	期間限定労働 時間短縮	年間労働時 間契約制	圧縮労働 時間制	短時間正 職員制度	その他		
122	24	3	83	0	6	18	8	3	57	11	66	1
64.6%	19.7%	2.5%	68.0%	0.0%	4.9%	14.8%	6.6%	2.5%	46.7%	9.0%	31.7%	0.5%

その他

○夜勤専従（正職員・パート）	○2交替・3交替勤務の選択
○部分休業	○夜勤回数の制限（免除）
○短時間労働	○4段階の勤務区分制度
	○多様な常勤雇用形態（4種）を導入
	○期間限定夜間専従

(コ) 育児・介護休業法の改正に伴う取り組み

	取り組んでいる（n= 171）						取り組んで いない	無回答
	看護職員の増員	看護職員以外の 職員の増員	看護職員の業務 分担の見直し	看護職員と他職 種との業務調整	業務量に応じた 柔軟な人員配置	その他		
171	77	40	98	55	109	26	16	2
90.5%	45.0%	23.4%	57.3%	32.2%	63.7%	15.2%	8.5%	1.1%

その他

○育児短時間	○24時間保育室常設	○子育てミーティングの実施
○短時間勤務	○育児・介護休暇	○子育て中の夜勤回数制限
○院内保育室	○託児所利用料補助	

(サ) 看護職員の卒後の教育研修体制

a. 教育部門の教育研修責任者の配置状況

	配置あり（内訳 n=143）				配置なし
	専従	専任	両方	無回答	
143	30	111	1	1	46
75.7%	15.9%	58.7%	0.5%	0.5%	24.3%

b. 各部署(看護)単位の教育研修担当者(プリセプターを除く)配置状況

全ての部署で 配置	一部の部署で配置		配置していない	無回答
	平均人数	平均部署数		
108		33	45	3
57.1%	6.3	5.9	23.8%	1.6%
		17.5%		

c. 新卒看護職員の教育研修体制について

	業務に支障なく研 修を受講できる人 員配置	看護部門に教育研 修責任者を配置	各部署に教育研修 担当者を配置	病院間連携による 教育研修の実施	教育研修担当者の 資質向上のための 支援	教育研修担当者の 業務量への配慮	その他
すでに 取り組んでいる	96	97	105	63	99	69	0
	50.8%	51.3%	55.6%	33.3%	52.4%	36.5%	0.0%
取り組みの拡充・ 新たに開始予定	2	11	4	10	8	6	0
	1.1%	5.8%	2.1%	5.3%	4.2%	3.2%	0.0%

その他

○eラーニング	○OJT	○キャリアラダーシステム
○看護協会の研修参加	○他部門との連携教育、外部への研修依頼	

d. 全看護職員の卒後研修体制のシステム化状況

システム化されている	システム化されていない	検討中	無回答
90	57	34	8
47.6%	30.2%	18.0%	4.2%

e. クリニカルラダー(キャリア開発ラダー) 導入状況

導入している	導入していない	検討中	無回答
75	61	47	6
39.7%	32.3%	24.9%	3.2%

(シ) メンタルヘルスに対する相談体制

a. 導入状況

導入している	導入していない	検討中	無回答
145	22	19	3
76.7%	11.6%	10.1%	1.6%

b. 相談対応者 (複数回答)

専門家	看護部局師長	医師	その他	無回答
50	64	46	20	2
47.6%	61.0%	43.8%	19.0%	1.9%

その他の対応者

<input type="checkbox"/> 臨床心理士	<input type="checkbox"/> 人事	<input type="checkbox"/> 再任用看護師
<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 外部産業医	<input type="checkbox"/> 事務職 (事務長・総務課長・事務員)
<input type="checkbox"/> 衛生管理者	<input type="checkbox"/> 精神看護専門看護師	<input type="checkbox"/> 産業カウンセラー

(ス) ナースセンターの事業について

a. ナースセンターの無料職業紹介の利用

している	していない	無回答
105	79	5
55.6%	41.8%	2.6%

(セ) 届出制度

a. 離職者へ説明

している	していない	無回答
169	17	1.1
89.4%	9.0%	1.7%

② 看護職の再就業者実態調査

調査目的：ナースセンター事業において再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
平成28年度千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用での就業者を除く)	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成29年9月1日～平成29年9月20日

調査結果の概要

対象者数：137名 回収数：76名（回答率：55.5%）

ア. 回答者居住地区

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
23	4	11	3	8	6	5
30.3%	5.3%	14.5%	3.9%	10.5%	7.9%	6.6%

利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
2	0	1	4	1	2	6
2.6%	0.0%	1.3%	5.3%	1.3%	2.6%	7.9%

イ. 性別

女性	男性
76	0
100.0%	0.0%

ウ. 就職時の就業状況

就業者	未就業	無回答
30	46	0
39.5%	60.5%	0.0%

エ. 年齢

	(n=76)	未就業 (n=46)	転職 (n=30)	無回答 (n=)
20代	4 5.3%	3 6.5%	1 3.3%	0 0.0%
30代	23 30.3%	17 37.0%	6 20.0%	0 0.0%
40代	27 35.5%	14 30.4%	13 43.3%	0 0.0%
50代	14 18.4%	10 21.7%	4 13.3%	0 0.0%
60代	8 10.5%	2 4.3%	6 20.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

オ. 資格

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
13	2	54	4	3
17.1%	2.6%	71.1%	5.3%	3.9%

カ. 未就業者のブランク期間

6か月未満	～1年	～2年	～3年	～4年	～5年	～10年	～15年
12	9	4	1	1	1	9	5
26.1%	19.6%	8.7%	2.2%	2.2%	2.2%	19.6%	10.9%

～20年	～25年	～30年	無回答
1	1	0	0
2.2%	2.2%	0.0%	0.0%

キ. 現在勤務している施設で働き続けられている理由（複数回答）

	(n=62)	未就業	転職	無回答
		(n=40)	(n=22)	(n=0)
再就業支援のプログラムがあった	1 1.6%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
プリセプターがついてくれる	5 8.1%	2 5.0%	3 13.6%	0 0.0%
看護ケアが充実している	3 4.8%	1 2.5%	2 9.1%	0 0.0%
希望する看護領域	9 14.5%	7 17.5%	2 9.1%	0 0.0%
キャリアアップの機会がある	4 6.5%	3 7.5%	1 4.5%	0 0.0%
医療安全対策が充実している	1 1.6%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
上司との関係が良い	22 35.5%	14 35.0%	8 36.4%	0 0.0%
同僚との関係が良い	37 59.7%	27 67.5%	10 45.5%	0 0.0%
勤務時間が自分の生活スタイルに合っている	45 72.6%	30 75.0%	15 68.2%	0 0.0%
短時間勤務ができる	22 35.5%	15 37.5%	7 31.8%	0 0.0%
夜勤を軽減・免除する体制がある、又は夜勤がない	15 24.2%	9 22.5%	6 27.3%	0 0.0%
休暇が取りやすい	25 40.3%	15 37.5%	10 45.5%	0 0.0%
給与が希望にあっている	13 21.0%	8 20.0%	5 22.7%	0 0.0%
通勤に便利	35 56.5%	24 60.0%	11 50.0%	0 0.0%
福利厚生が充実している	4 6.5%	2 5.0%	2 9.1%	0 0.0%
子育て支援策が充実している	3 4.8%	2 5.0%	1 4.5%	0 0.0%
家族の支援がある	6 9.7%	6 15.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 6.5%	2 5.0%	2 9.1%	0 0.0%

その他：自分が必要とされている ・気持ちが楽 ・残業が少ない

・看護を超えた広い分野（障害雇用）を学びたかったから

ク. 就職活動で利用した職業紹介所等について（複数回答）

	(n=76)	未就業	転職	無回答
		(n=46)	(n=30)	(n=0)
千葉県ナースセンター	56 73.7%	33 71.7%	23 76.7%	0 0.0%
公共職業安定所、ジョブカフェ等	36 47.4%	24 52.2%	12 40.0%	0 0.0%
民間の就職あっせん業者	20 26.3%	14 30.4%	6 20.0%	0 0.0%
派遣業者	5 6.6%	4 8.7%	1 3.3%	0 0.0%
その他	16 21.1%	8 17.4%	8 26.7%	0 0.0%

その他：【未就業】転職サイト、折込チラシ、元上司からの誘い、インターネット

【転職】東京仕事センター、病院職員からの呼びかけ

ケ. 再就業のきっかけ（複数回答）

	(n=76)	未就業	転職	無回答
		(n=46)	(n=30)	(n=0)
今までに得た職業経験や技術・資格を活かす	47 61.8%	31 67.4%	16 53.3%	0 0.0%
専門的な経験をより高めたい	13 17.1%	8 17.4%	5 16.7%	0 0.0%
社会に出たい	21 27.6%	10 21.7%	11 36.7%	0 0.0%
友人・知人にすすめられた、誘われた	3 3.9%	2 4.3%	1 3.3%	0 0.0%
生活費のため	36 47.4%	19 41.3%	17 56.7%	0 0.0%
子育てが一段落し、自由な時間ができた	16 21.1%	12 26.1%	4 13.3%	0 0.0%
将来や老後への備えた貯蓄	11 14.5%	7 15.2%	4 13.3%	0 0.0%
自分で自由に使える収入を得る	17 22.4%	10 21.7%	7 23.3%	0 0.0%
教育費や住宅費（住宅ローンを含む）のため	14 18.4%	8 17.4%	6 20.0%	0 0.0%
その他	10 13.2%	6 13.0%	4 13.3%	0 0.0%

その他：【未就業】・体力的にもう少し働けると思った
 ・臨床経験が短いため
 ・奨学金返済のため
 ・看護教員として就職を考えていたため

【転職】・看護に捉われない仕事があった
 ・看護に捉われない仕事があった
 ・もっと自分に合った時間、待遇で働きたい

コ. 就職先決定の決め手（複数回答）

	(n=76)	未就業	転職	無回答
		(n=46)	(n=30)	(n=0)
看護領域・看護内容・業務内容	42 55.3%	28 60.9%	14 46.7%	0 0.0%
勤務時間	43 56.6%	27 58.7%	16 53.3%	0 0.0%
再就業の支援プログラム	5 6.6%	4 8.7%	1 3.3%	0 0.0%
立地（通勤に便利な場所等）	44 57.9%	30 65.2%	14 46.7%	0 0.0%
子育て支援	2 2.6%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%
保育施設	2 2.6%	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
キャリアアップ支援	2 2.6%	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
給与	18 23.7%	10 21.7%	8 26.7%	0 0.0%
休日・休暇制度	14 18.4%	8 17.4%	6 20.0%	0 0.0%
宿舍・寮	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家族の支援・同意	6 7.9%	4 8.7%	2 6.7%	0 0.0%
その他	10 13.2%	5 10.9%	5 16.7%	0 0.0%

その他：【未就業】・職場の雰囲気
 ・ブランクを受け入れてくれたから
 ・ナースセンター担当の方が進めてくれたから

【転職】・職場の雰囲気
 ・通学に理解がある
 ・専門知識を活かせる上場企業で働きたかった

4 医療・看護における安全対策

医療安全推進週間の推進

1. 第13回 医療安全大会

目 的：県民への安全・安心な医療・看護の提供に寄与することを目的に、医療安全推進週間に関する行事として医療安全大会を開催し、医療従事者の意識の向上と、組織的取り組みの促進から医療安全の普及啓発を図る。

テ ー マ：「医療コンフリクト・マネジメント ～対話と協働～」

日 時：平成29年11月12日(日) 10：30～16：30

会 場：幕張メッセ国際会議場（コンベンションホール）

参加人数：686名(看護職501名、他職種185名)

他職種：医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・放射線技師・事務職・栄養士・MSW等

内 容：(1) 医療安全に関する標語 表彰式

(2) 講演「医療コンフリクト・マネジメントと医療対話推進者・医療メディエーションの有用性」

講 演 者：稲葉 一人（中京大学法科大学院 教授）

(3) パネルディスカッション「医療対話推進者・医療メディエーションの活用術」

パネリスト：廣井 直樹（東邦大学医療センター大森病院 総合相談部長 教授）医師

末吉 美花（東京都立大塚病院 改修調整担当看護師長）看護師

豊田 郁子（NPO法人架け橋 理事長）患者・家族

座 長：稲葉 一人（中京大学法科大学院 教授）

小賀坂好子（公益社団法人千葉県看護協会 医療安全委員会委員長

帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 看護学科 教授）

(4) 臨床工学技士による機器の正しい取扱い方法の説明と体験

「輸液ポンプ等、医療機器の正しいトリセツ」

(5) 医療関連企業の展示・体験コーナー

「最新の医療資機材展示・医療安全の取り組み紹介」：参加企業17社

(6) まとめ：

テーマ・内容については、第12回医療安全大会の講演で推進していくことが必要と提言された「医療コンフリクト・マネジメント」「医療対話推進者」に焦点を当てたものとし、昨年に続く講師であったが、初めての参加でもわかる講演で、「事例を通した説明で、わかりやすかった」との意見が聞かれた。パネルディスカッションについては、それぞれの立場から医療対話推進者としての活動が発表され、医療トラブルの回避や患者・家族及び医療職者のスムーズな連携に役立つことが示され、「必要性が理解できた」との意見が聞かれた。

参加者は、看護職501名（73%）、他職種185名（27%）で、県内115/287病院（40.1%）やクリニック、訪問看護ステーション、行政等から参加があり、医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・事務職等の多職種が一堂に会した大会として定着してきている。

2. 医療安全に関する標語、ポスターでの普及啓発

目 的：医療安全に関する標語を通して県内の医療従事者が、医療安全に関し意識の向上を図る。また、標語ポスターを活用し普及啓発に寄与する。

募集内容：医療安全を推進する上で、多職種が共通活用できる標語

募集結果：応募数955作品（看護職710作品、他職種238作品、不明7作品）

他職種：医師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・事務職・
栄養士・MSW等

入選作品：優秀賞 「事故防止 迷った時の聞く勇氣」

医療法人社団鎮誠会季美の森リハビリテーション病院 2階病棟看護師 太田春香

佳作 「掛けあった 言葉の数だけ ミスが減る」

I M S グループ医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院 リハビリ部門

「ひと手間を 惜しむ気持ちが 事故招く」

医療法人社団鎮誠会季美の森リハビリテーション病院 3階病棟医療安全係

「気配りで 気付く つながる 安全意識」

医療法人社団碩成会 島田台総合病院 一般病棟 三浦美樹子

「声かけて 事故ゼロ目指す チーム力」

千葉県立佐原病院 訪問看護ステーションさわら

医療安全ポスターの作成と配布：

医療安全に関する標語の優秀標語と優秀賞受賞施設職員の写真を組み合わせたポスターを作成し、県内医療機関や会員施設(団体)等に配布。

ま と め：標語の応募者が多職種を含む医療従事者に浸透し、年々応募数が増加している。今年度は、数年ぶりに看護職が優秀賞に輝いた。医療の現場に従事している全職種が、医療安全を意識し業務に従事する上で、標語は活用されていると考える。

医療安全管理者の育成

医療安全担当者（中央・地区）交流会の開催

1 医療安全担当者中央交流会

目 的：県内の医療安全担当者間の情報共有とスキルアップを支援することにより、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

ね ら い：(1)医療事故調査制度の施行後、院内事故調査外部委員活動からの見解や、日本医師会主催の「支援団体統括者セミナー」の伝達を受け、自施設で取り組みについて課題を見出すことができる。

(2)同じ地区で活動している看護職間の連携を深め、各施設等の課題を明確にし、情報交換・検討を行い、今後の活動の参考とする。

(3)各地区内での多職種連携の強化に向け、医療安全担当者地区交流会等でリーダーシップを発揮して活動できるチームをつくる。

日 時：平成30年1月27日(土) 10：00～16：00

会 場：千葉県看護会館 2階大研修室

参加人数：69名（専従17名、専任10名、兼任40名、その他2名）、関係者10名

内 容：(1)講演「医療事故調査制度の今後の取り組み方

～院内事故調査委員会 外部委員としての見解～」

講師：寺口 恵子（公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事）

(2)グループワーク テーマ①：「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」

テーマ②：「各地区での連携・交流の持ち方について」

ファシリテーター：医療安全委員(看護職2名)、医療安全管理者専従等(5名)

ま と め：講演内容は、医療事故調査制度に関する「支援団体統括者セミナー」（日本医師会主催研修）伝達や、実際に院内事故調査委員会の外部委員として参加しての見解が示された。特に、医療事故調査における「医療事故」の範囲については、事例をもとに検討しながら学び、「報告の事例演習等、とても参考になり学ぶことができた。」、「千葉県内の相談等窓口が千葉県医師会であること、医師会の動きが現場には伝わっていなかったので、知ることができて良かった。」等、現場で活用できる情報が伝えられた。

グループワークでは、例年好評であるテーマ「医療安全担当者として活動している上での悩み、課題」、「各地区での連携・交流の持ち方について」の2題のテーマを討議した。その結果、「医療安全管理者として孤独感を感じ、辛い状況を語りながらディスカッションする中で、グループの仲間意識を感じ勇気づけられた。」と地区別グループでの共有・連携の必要性を実感された意見や、ネットワークづくりの土台として今回参加のメンバーでチーム結成した地区もみられた。今後開催については、各地区のチームが確立し、具体的な情報共有等が進んできた際、地区では解決困難であった事例の検討や各地区単位での情報共有や活動報告、他地区との交流の場として、また看護職間連携、多職種連携、役割別等、色々なバージョンでの開催ができるよう支援していきたい。

2 医療安全担当者地区交流会

目 的：地域において医療安全を推進していくためには、施設の壁を越え多職種間で連携することが重要であり、よりフレキシブルな体制作りや広い視野の情報交換が求められる。県内各地域において医療安全担当者間の情報共有とスキルアップの支援を図るため、医療安全担当者による地区交流会を実施する。

内 容：講演・演習

<基礎編> 「医療安全の推進におけるチームステップス研修を体験してみよう」

チームステップスを知っている人も知らない人も演習をとおして交流が深められ、参加者がその場でチームを体感できる

<実践編> 「医療安全の推進におけるチームステップスを実践していこう」

演習をとおしてより現場で活用・実践できるチームづくり・多職種連携の手法を学べる

講 師：鈴木 真（亀田総合病院 産婦人科部長、総合周産期母子医療センター長、
チームステップス推進委員会委員長）

協 力 者：チームSTEPPS千葉

実施地区・日程・場所・参加人数：

<基礎編>

地区	日程 ・ 場所	参加者数 (内訳)
利 根	7月21日(金)13:30~16:30 国保旭中央病院研修棟 5階大講堂	107名 (一般参加者：看護職63名・他職種30名、 関係者：14名) 他職種：医師・薬剤師・臨床検査技師・ 理学作業療法士等
市 原	11月24日(金)13:30~16:30 サンプラザ市原 9階1・2研修室	67名 (一般参加者：看護職42名・他職種13名、 関係者：12名) 他職種：薬剤師・事務職・栄養士・ 放射線技師等

<実践編>

地区	日程 ・ 場所	参加者数 (内訳)
君津	7月28日(金)13:30~16:30 君津中央病院 4階講堂	67名 (一般参加者:看護職34名・他職種25名、 関係者:8名) 他職種:医師・薬剤師・臨床工学技士・ 理学作業療法士等
安房	11月18日(土)13:30~16:30 鴨川市総合保健福祉会館 (ふれあいセンター)	34名 (一般参加者:看護職18名・他職種6名、 関係者:10名) 他職種:事務職・介護職等

ま と め：医療安全担当者の役割を担った各地区の多職種を対象に行う研修として、今年度は千葉県薬剤師会にも協力を依頼し広報した。その結果、調剤薬局の薬剤師の参加もあり4地区全てに他職種の参加がみられた。

参加者や地区役員からは「コミュニケーションツールが色々な場面で活用できる。」「自らの活用や現場へ伝達して実践していきたい」との意見があり、アンケート結果からも全地区で95%以上が「研修に参加して良かった」と回答していた。また、3地区で50%以上、1地区で40%弱がこの研修会を通して、相談できる仲間ができたと回答され、施設の壁を越えた多職種間の連携に繋がったと考えられる。

その他、交流の場を継続して確保する等についてディスカッションする時間を設けたが、医療安全の専従者や担当者ではなくスタッフが多かったこともあり、「自分達で会を開催するのは難しい」との意見であった。地区内の交流を深め情報共有を行うために有効な内容ではあるが、継続した交流の場の確保や更なる多職種の参加の増員については、課題が残った。

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

1 訪問看護推進事業（県委託事業）

(1) 訪問看護に関する総合相談

<相談者の内訳>

相談者内訳	件数
看護職	53
県民	17
ケアマネ	14
事務職	13
その他福祉職	5
その他医療職	1
他県民	5
不明	2
計	110

<相談内容の内訳>

相談内容	件数
訪問看護に関する事	78
介護に関する事	10
処置に関する事	5
運営・管理	5
管理業務・不安	2
その他	10
計	110

<訪問看護に関する相談の内訳>

相談内訳	件数
算定に関する事	23
適応される保険種別	13
訪問看護指示書に関わる事	11
医療保険での運用の詳細	10
加算に関する事	5
精神科訪問看護について	5
施設への訪問	5
導入に関する相談	4
介護保険での運用の詳細	2

(2) 訪問看護の普及啓発事業

看看連携・看看ケアマネ連携フォーラムの開催（地区別開催：松戸地区・長夷地区）

目的：在宅医療の中核を担う訪問看護の役割を地域に浸透するために、在宅ケアに関わる職種との意見交換等を行い、訪問看護の役割について理解を深める。その中で、訪問看護師と病院等の看護師、訪問看護師と介護支援専門員が連携をすることで、訪問看護についての理解を深め訪問看護が円滑に導入されることを目的に開催する。

	看看連携フォーラム（松戸地区）	看看ケアマネ連携フォーラム（長夷地区）
テーマ	一緒に利用者さんの生活を考えませんか	一緒に患者さんの退院後の生活を考えませんか
内容	<p>【講義】</p> <p>1. 病院の退院支援について</p> <p>2. 訪問看護の役割</p> <p>【グループディスカッション】</p> <p><ファシリテーター></p> <ul style="list-style-type: none"> あい訪問看護ステーション 所長 井上悦子 氏 松戸神経内科訪問看護ステーション 所長 川田 恵 氏 ハインス訪問看護ステーション 所長 金澤恭子 氏 セコム松戸訪問看護ステーション 所長 沼田ゆき江 氏 秋桜訪問看護ステーション 所長 大江里江 氏 株式会社アース訪問看護サポテン 代表取締役 佐塚 みさ子 氏 	<p>【講義】</p> <p>医療介護の連携の必要性～地域包括支援センターの役割とは～</p> <p>【グループディスカッション】</p> <p><ファシリテーター></p> <ul style="list-style-type: none"> やすらぎの郷訪問看護ステーション 所長 岡嶋恵子 氏 亀田訪問看護ステーション勝浦 所長 中内陽子 氏 茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション 所長 古谷ゆり子 氏 茂原訪問看護ステーション 所長 泉かつ子 氏 いすみ訪問看護ステーション 所長 吉原悦子 氏 ヤックス訪問看護ステーション大原 所長 吉野理恵 氏
参加者内訳	<p>51名（関係者含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職：病院（21名）施設（1名） 地域包括（3名）訪問看護（13名） 関係者：12名 	<p>40名（関係者含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職：病院（11名）施設（2名） 地域包括（2名）訪問看護（10名） ケアマネジャー：地域包括（3名） 訪問看護（1名） 居宅事業所（1名） 関係者：12名

(3) 訪問看護師再就職支援事業

① 訪問看護基礎研修会（再掲）※ナースセンター事業

目的：在宅療養者に質の高い訪問看護を提供する看護師の確保・定着を図るために訪問看護の基礎的な内容を学ぶことで就労に向けての動機づけと訪問看護の役割を理解する。

内容：半日コース 講義：訪問看護活動に要する基礎的な内容

1日コース 講義：半日コースと同様

技術体験：吸引・胃瘻・膀胱留置カテーテル・摘便

日時・場所・講師：

開催日	開催場所	講師	受講者
6月24日（土） 9：30～12：30	看護会館（千葉市）	まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤富子氏	15名
7月4日（火） 9：30～15：30	看護会館（千葉市）	ふたわ訪問看護ステーション 所長 大桐四季子氏	22名
		まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤富子氏	
9月2日（土） 9：30～12：30	ミレニアムセンター 佐倉（佐倉市）	コープみらい四街道訪問看護ステーション 山橋直子氏	12名
10月5日（木） 9：30～15：30	看護会館（千葉市）	ふたわ訪問看護ステーション 所長 大桐四季子氏	16名
		まくはり訪問看護ステーション 所長 佐藤富子氏	
10月28日（土） 9：30～12：30	全日警ホール（市川市）	新松戸ロイヤル訪問看護ステーション 所長 関屋博子氏	6名
12月16日（土） 13：30～16：30	君津中央病院（木更津市）	君津中央病院地域医療センター 地域連携室 師長 杉原幸子氏	5名
1月20日（土） 9：30～12：30	看護会館（千葉市）	船橋二和病院 副総看護師長 佐々木ゆかり氏	14名
		セントマーガレット訪問看護ステーション 所長 榎原真由美氏	
2月6日（火） 9：30～15：30	看護会館（千葉市）	亀田訪問看護センター 所長 佐々木真弓氏	16名
		千葉メディカルセンター 師長 神谷明美氏	

事前申込数118名、 受講者合計106名、受講後の訪問看護就業者数12名

アンケート結果：

【1. 年齢】 回答104名

20代	2名
30代	19名
40代	43名
50代	29名
60代以上	11名

【2. 受講時の就業状況】 回答102名

未就業	46名	【未就業期間（回答44名）】 1年未満23名、1～5年6名、 5年以上15名
就業中	56名	【就業先（回答53名）】 病院20名、診療所11名、 施設12名、その他10名

【3. 研修を知ったきっかけ】 回答100名(重複回答)

看護協会ホームページ	25名
看護協会からの郵便チラシ	16名
新聞折込、ポスティングチラシ	14名
ハローワーク内設置チラシ	12名
市町村の広報誌	11名
職場上司から照会	7名
知り合いの訪問看護師から紹介	6名
ナースセンター設置のチラシ	4名
その他	13名

【4. 受講後の訪問看護への意識】 回答100名(重複回答)

訪問看護の仕事に興味・関心が高まった	75名
訪問看護の現場を見てみたい	22名
訪問看護についてもっと話が聞きたい	40名
病院・施設内でこの知識を活かしたい	20名
訪問看護の仕事は難しい	16名

【6. 訪問看護師として働きたいか】 回答95名(重複回答)

すぐに働きたい	14名
いずれ働きたい	66名
訪問看護師以外を検討	5名
現在の状況をしばらく維持	18名

② 訪問看護就職フェア

目的：在宅医療の中核を担う訪問看護の重要性が高まる中、本県では訪問看護の担い手が不足しており、人材確保が急務となっている。再就業を希望する潜在看護師等を対象に「訪問看護師就職フェア」を開催することにより、訪問看護への興味・理解を深め、訪問看護ステーションへの就業の促進を図る。

対象者：転職・復職を考えている看護職

協力団体：ハローワーク松戸、千葉県訪問看護ステーション協会

プログラム：

内容	発表者・担当者
①ミニセミナー（再就業者の体験談）	ケアパートナー馬橋 西岡ちひろ 氏 常盤平訪問看護ステーション 金子千明氏
②交流カフェ	5グループ。参加者同士の情報交換 ファシリテーター：千葉県訪問看護ステーション協会会長・ 千葉県看護協会スタッフ
③個別就業相談	千葉県訪問看護ステーション協会・ 千葉県看護協会ナースセンター・ハローワーク松戸

アンケート結果：回収26名

【1. 年齢】

20代	2名
30代	8名
40代	8名
50代	3名
60代以上	5名

【2. 参加したきっかけ】（重複回答）

ハローワークポスター	9名
ハローワーク郵送物	8名
地域新聞	5名
ハローワーク窓口	4名
ナースセンター郵送物	2名
ハローワーク雇用保険説明会	1名
ナースセンター研修	1名
松戸市報	1名
その他	2名

【3. 感想】

- ・復職の経験をした方の話を聞くことができとても良かった（8）。
- ・訪問看護ってどんなことを行っているのか、直接話を聞いて良かった（5）
- ・デイサービスの方と直接話せて、いろいろと説明してもらい参考になった（3）
- ・色々な方と話せて情報を頂けたこと、交流会で色々と教えてもらったこと（3）
- ・気になっていること、ささやかな疑問などが聞いて解決になった、勉強になった（2）

【4. 要望】

- ・病院やクリニック（6）特養（1）、企業（1）、いろいろな看護職（1）の方の話が聞きたかった
- ・ブランク可の求人について、何に気をつけて就職活動したほうが良いか。
- ・看護技術の練習をしたい。就業先を見つける時の具体的な決め方や方法など知りたい。

【まとめ】

訪問看護に関する総合相談では、前年度108件から今年度110件とほぼ横ばいであるが、看護職からの相談が増え、県民からの相談は減少している。看護職からは制度及び算定根拠についての問合せが多く、管理者、特に小規模事業所の管理者の制度の理解を深めることが課題と考えている。

訪問看護の普及啓発に関して、長夷地区で開催した看看ケアマネ連携フォーラムでは、病院看護師の参加が少なく課題が残った。しかし、今後の取組みについてのGWでは、地域包括支援センターと連携した地域に根付いた活動の必要性について共有され、看護職同士の顔の見える集まりの継続を望む声が多くある。協会主催での開催は2年で終了となるため、3年目以降の活動については、地区担当者と相談しながら、活動が継続されるように支援していきたい。松戸市で開催した看看連携フォーラムでは、退院時に看護サマリーを

作成するだけでなく、病院看護師が訪問看護師へ直接連絡を取ることで、在宅に向けた指導の途中で退院をしても、在宅療養の中で指導を継続できることが共有された。今後、地域包括ケアが進む中で、早期退院に繋がるよいディスカッションになったと考える。

訪問看護病院経営者講習会については、対象を、病院長・看護管理者・事務長の他、地域連携室等まで広げ、3会場合わせて186名（関係者含む）の参加であった。質疑応答では、みなし訪問看護を行う場合の具体的な質問があり、興味を持つ病院の管理者に向けては、きっかけづくりに繋がったと考える。

訪問看護師指導者育成研修会では、H28・29年度の基礎編受講者を対象としたフォローアップ研修として新たに実践編を開催した。テーマは「事業所の経営と人材育成」であるが、実践編は受講生から希望の多かった、経営に関する内容により重点を置いたものとした。実践編の検討メンバーに訪問看護ステーション協会の副会長を加え、今後も実践に即した内容の講習会にしていくことを考えている。

訪問看護師再就業支援に関して、訪問看護基礎研修会は、主に潜在看護師を対象に、訪問看護師としての再就業に向けての動機づけとして実施している。今年度よりGWや訪問看護ステーション所長との交流会、再就業者の動画等を取り入れ、訪問看護就業へのイメージ強化を図ることで、就業数は12名と増加した。アンケート結果から、広報ではホームページや地域新聞を活用しての広告やチラシでの参加者が増えていた。開催場所として、看護会館の方が各地より受講者数が多いことから、看護会館での半日開催を増やす方向で考えたい。

訪問看護ステーション見学体験については、年度の目標が25件であるところ、16件の実施となり、達成度は64%である。見学前後の情報交換をきっかけに、ナースセンターへの情報提供に繋がった受講生が6名おり、より個別的な就業支援に繋げるきっかけとしても効果が期待できるため、より見学者を増やせるように検討したい。

訪問看護就職フェアは、体験談と交流カフェ、個別就業相談の形で開催した。例年参加者の確保が課題であったが、今回はハローワークと連携し、対象者を看護職全体へ広げたことにより、多数の参加が得られた。また、アンケート結果の感想から、訪問看護師の体験談を聞くことで訪問看護への関心が深まり、新たな職域の就業への動機づけとなっていた。また訪問看護基礎研修会への参加やナースセンターへの登録促進につなげることもできた。参加しやすい対象設定と、より具体的な情報交換の場の設定が効果的であったと考える。

2 訪問看護推進事業（協会単独事業）

(1) 訪問看護師人材育成事業

【人数】	支援者			H24年からの累計数	事業所	
	H29年度		H24年からの累計数		H29年度	H24年からの累計数
	支援者	新規			修了・終了者	
新卒	4 ・1年目1 ・2年目3	1	修了：2年目2 終了：2年目1	10	5	10
チャレンジ	2	2	修了：1	20		

【まとめ】

今年度は新卒看護師2名とチャレンジ看護師1名がプログラムを修了した。新卒看護師1年目1名及びチャレンジ看護師1名の支援を継続する予定である。プログラムが周知されることにより、協会職員1人で担当することが困難となっており、支援体制について検討をしたい。

IV 県民への健康・福祉の増進に関する事業

1. 「看護の日」「看護週間」事業

第27回県民が集う「看護の日」

(1) 目的：県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。

(2) テーマ：「看護の心をみんなの心に～地域で輪となりつなげる看護～」

(3) 主催：(公社)千葉県看護協会

(4) 共催：千葉県

(5) 実施日・会場等

① 地区部会行事

実施日時：平成29年5月13日(土)

会場：

地区	時間	場所
千葉	13：00～16：00	千葉市ハーモニープラザ 1階
市原	13：00～16：00	ユニモちはら台
船橋	10：30～15：00	東武船橋駅コンコース
市川	11：00～15：00	市川市中央図書館 1階ロビー
松戸	10：00～14：00	松戸駅東西連絡通路
東葛	10：00～14：00	道の駅しょうなん
印旛	13：00～16：00	ボンベルタ成田 4階 中央エスカレーター脇
利根	10：00～15：00	イオンモール銚子 1階 いるかの広場
山武	10：00～14：00	東金サンピア 1階ステージコート
長夷	12：30～15：00	茂原ショッピングプラザ「アスモ」
君津	12：30～15：00	イオンモール富津1階アゼリアコート横
安房	11：00～15：00	イオンタウン館山 コミュニティホール前

(6) 実施結果

地区部会行事の参加人数は、延べ6,830名。

(7) 今年度からの変更部分

看護体験記表彰…7月19日(水)に平成29年度第一回施設等会員代表者会

(於：ポートプラザホテルちば)内で表彰式・体験記発表。

(8) まとめ

開催日当日は一日中雨が降り、天候には恵まれなかったが、県内全体で延べ来場者数6,830名と多くの方に御来場いただいた。毎年楽しみにしている方も増え、県民の健康な生活に貢献する大事な催しとして定着していると考え。「国際助産師」の催しは昨年と同じ市原地区部会と合同で開催となった。「看護の日」に付随して行っていた「看護体験記」は、ふれあい看護体験の応募者が年々増加傾向にあることや、看護師養成校が県内に4校開校したことなどから、「看護の仕事を将来の職業として選択するきっかけとする」という看護体験記が主目的としてきたことが、達成しつつあると評価できる。また、中央行事の廃止に伴い看護体験記の表彰・発表を行い、県民へ看護に対する理解を深めてもらうことも難しくなっている。以上の点から平成30年度からは「看護体験記」の募集は行わないこととする。

2. 「まちの保健室」事業

「まちの保健室」実施状況

平成29年度 常設型「まちの保健室」実施状況（地区部会）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

地区	血圧測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		肺年齢		血管年齢		骨密度		その他 (健康相談等)		件数(延人数)		年齢構成							協力員					
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代		80歳以上	不明	合計 (実数)		
千葉	19	9	22	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	0	0	0	0	0	0	49	21	70	0	0	1	3	5	7	13	4	0	33	10
市原	85	42	86	43	0	0	0	0	0	0	0	0	90	55	0	0	0	0	0	6	0	267	140	407	1	48	31	40	38	75	69	3	0	304	15
船橋	37	35	34	31	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	9	85	75	160	0	2	1	8	6	21	23	17	3	81	19
市川	82	39	65	26	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	151	68	219	0	2	14	24	19	25	37	9	0	130	20
松戸	6	4	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	19	9	28	0	0	0	0	2	2	1	0	5	6	
東葛	269	199	262	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	316	191	34	45	881	644	1,525	0	24	34	75	160	556	540	179	0	1,588	54	
印旛	402	100	402	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	303	51	50	10	1,157	261	1,418	0	5	10	27	49	196	201	47	0	535	29	
利根	155	94	126	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	43	0	0	135	60	491	262	753	2	6	11	26	64	80	61	12	4	264	24	
山武	38	24	38	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	28	34	17	125	59	279	152	431	0	0	1	4	11	41	17	1	6	81	16	
長夷	34	11	23	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	15	75	0	0	2	3	6	8	25	4	0	48	20	
君津	25	13	18	12	30	14	0	0	0	0	0	0	25	15	0	0	0	0	36	15	134	69	203	0	22	11	11	6	14	17	0	0	81	12	
安房	12	12	12	10	6	6	0	0	2	0	0	0	0	0	12	6	0	0	1	3	45	37	82	0	3	2	5	9	9	8	4	1	41	8	
合計	1,164	582	1,092	533	36	20	1	0	8	0	2	0	123	74	132	78	653	259	407	207	3,618	1,753	5,371	3	112	118	226	373	1,034	1,013	281	14	3,171	233	

平成29年度 イベント型「まちの保健室」実施状況(地区部会)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

地区	行事名	開催日	血圧測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		肺年齢		血管年齢		骨密度		その他		件数(延人数)		年齢構成							協力員								
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計	19歳～	20歳代	30歳代	40歳代		50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計(実数)		
千葉	A-モーブサマースタッフ市民健康づくり	7月23日	37	9	65	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	17	64	30	81	25	6	4	286	101	387	0	20	34	65	94	64	23	0	362	11			
			54	35	85	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	36	59	32	0	0	0	48	23	307	180	487	0	35	29	85	120	13	0	487	11			
市原	健康まつり	10月22日	台風の為イベント中止																																					
船橋	ふなばし健康まつり かまがや福祉健康フェア	11月4日	57	19	57	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	14	0	0	0	0	150	52	202	0	6	16	10	5	28	45	27	0	137	4		
			91	44	85	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	178	89	267	0	2	1	14	9	31	63	17	0	137	4	
市川	健康フェア浦安	10月22日	台風の為イベント中止																																					
松戸	松戸まつり がらん予防展※	10月7日	128	50	128	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	386	152	538	0	1	4	17	16	49	61	29	1	178	14		
			76	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	38	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印旛	成田市健康・福祉まつり 救急フェア山武2017 城西国際女学校祭	9月3日	84	29	84	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	168	58	226	0	6	17	14	20	31	22	3	0	113	2		
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	25	116	0	3	4	8	40	49	4	0	116	5			
山武	アスモ夏まつり 君津健康福祉まつり	9月3日	43	3	38	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	10	18	5	110	36	261	85	346	0	3	12	7	6	11	13	5	0	57	10		
			42	18	44	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	1	131	132	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
長夷	君津健康福祉まつり	8月19日	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	616	135	751	0	9	5	15	18	37	53	12	0	149	20		
			90	20	73	16	81	22	0	0	0	0	0	0	0	0	92	19	94	20	90	20	96	18	616	135	751	0	9	5	15	18	37	53	12	0	149	20		
君津	合計	10月21日	702	265	660	248	81	22	1	2	1	0	0	0	0	186	72	300	106	230	52	576	297	2,737	1,064	3,801	0	111	127	244	252	451	495	134	10	1,824	112			
			967	908	103	3	1	0	258	406	282	873	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801
項目別合計			967	908	103	3	1	0	258	406	282	873	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801	3,801

※体脂肪率測定を行っていない為、年齢は聞かなかった。